第22回（2021年度）島根県障がい者スポーツ大会 開催・実施要項
第21回（2021年度）全国障害者スポーツ大会 個人競技選手募集要項

各競技会の開催期日・会場・申し込み期限日

	競 技 会 名		開 催 期 日	会 場（開催市）	申し込み期限日
①	水泳		４月２４日(土)	県立水泳プール （松江市）	４月　７日（水）
②	ボウリング		４月２４日(土)	しんじ湖ボウル （松江市）	４月　７日（水）
③	陸上		５月　８日(土)	松江市営陸上競技場 （松江市）	４月１２日（月）
④	フライングディスク		５月１５日(土)	浜田市陸上競技場 （浜田市）	４月１９日（月）
⑤	卓球	（一般卓球）	５月２２日(土)	浜山体育館 （出雲市）	４月２６日（月）
		（ＳＴＴ）	５月２２日(土)	ｻﾝ･ｱﾋﾞﾘﾃｨｰｽﾞいずも （出雲市）	４月２６日（月）
⑥	アーチェリー		５月２２日(土)	ｻﾝ･ｱﾋﾞﾘﾃｨｰｽﾞいずも （出雲市）	４月２６日（月）
⑦	ボッチャ		６月　６日(日)	松江市総合体育館 （松江市）	５月１０日（月）
⑧	ソフトバレーボール		９月　４日(土)	江津市民体育館 （江津市）	８月１０日（火）
⑨	グラウンド・ゴルフ		１１月１３日(土)	出雲ドーム （出雲市）	１０月　４日（月）
⑩	ソフトボール		１１月１３日(土)	出雲健康公園少年野球場 （出雲市）	１０月　４日（月）
⑪	バドミントン		１１月２７日(土)	浜山体育館 （出雲市）	１０月２９日（金）

上記の①～⑦は「第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会（三重県大会）選手選考記録会」を兼ねる。

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内
公益財団法人　島根県障害者スポーツ協会

目　　次

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項…… 2

新型コロナウイルス感染予防について…… 6

第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会 個人競技選手募集要項…… 9

水　泳　競　技　会…… 13

ボウリング競技会…… 19

陸　上　競　技　会…… 21

フライングディスク競技会…… 26

卓　球　競　技　会…… 31

アーチェリー競技会…… 35

ボッチャ競技会…… 40

ソフトバレーボール競技会…… 45

グラウンド・ゴルフ競技会…… 47

ソフトボール競技会…… 50

バドミントン競技会…… 53

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 参加申し込み書…… 58

第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会 個人競技申し込み書…… 74

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定　順不同）

松江市　浜田市　出雲市　江津市

４．主　管（予定　順不同）

一般財団法人島根県水泳連盟　島根県ボウリング連盟　一般財団法人島根陸上競技協会　島根県障害者フライングディスク協会　島根県卓球協会　島根県アーチェリー連盟　島根県バレーボール協会　島根県ソフトバレーボール連盟　島根県グラウンド・ゴルフ協会　島根県ソフトボール協会　島根県バドミントン協会　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　松江市陸上競技協会　出雲市卓球協会　江津市ソフトバレーボール連盟　出雲支部グラウンド・ゴルフ協会　出雲市ソフトボール協会　出雲市バドミントン連盟

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県手をつなぐ育成会　島根県知的障害者福祉協会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　開催市教育委員会　開催市体育協会　開催市社会福祉協議会　開催市身体障害者福祉協会　開催市手をつなぐ育成会　開催市障害者スポーツ協会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．各競技会の期日・会場

	競　技　名		期日（曜日）	会　場（開催市）
①	水泳		４月２４日(土)	県立水泳プール（松江市）
②	ボウリング		４月２４日(土)	しんじ湖ボウル（松江市）
③	陸上		５月　８日(土)	松江市営陸上競技場（松江市）
④	フライングディスク		５月１５日(土)	浜田市陸上競技場（浜田市）
⑤	卓球	（一般卓球）	５月２２日(土)	浜山体育館（出雲市）
		（ＳＴＴ）	５月２２日(土)	サン･ｱﾋﾞﾘﾃｨｰｽﾞいずも（出雲市）
⑥	アーチェリー		５月２２日(土)	サン･ｱﾋﾞﾘﾃｨｰｽﾞいずも（出雲市）
⑦	ボッチャ		６月　６日(日)	松江市総合体育館（松江市）
⑧	ソフトバレーボール		９月　４日(土)	江津市民体育館（江津市）
⑨	グラウンド・ゴルフ		１１月１３日(土)	出雲ドーム（出雲市）
⑩	ソフトボール		１１月１３日(土)	出雲健康公園少年野球場(出雲市)
⑪	バドミントン		１１月２７日(土)	浜山体育館（出雲市）

※①～⑦は「第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会（三重県大会）選手選考記録会」を兼ねる。

８．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び各競技団体制定競技規則並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

９．参加資格

（１）出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。

①２０２１年４月１日現在、９歳以上の障がい者。

※ただし、全国障害者スポーツ大会の出場資格は、２０２１年４月１日現在１３歳以上の障がい者とする。

②身体障がい者は、身体障害者福祉法（昭和２４年法律第２８３号）第１５条の規定により、身体障害者手帳の交付を受けた者。

③知的障がい者は、厚生事務次官通知（昭和４８年９月２７日厚生省発児第１５６条）による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。

④精神障がい者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和２５年法律第１２３号）第４５条により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。

（２）申し込み時に島根県内に現住所（住民票のある地）を有する者。ただし、島根県内の企業、施設、学校等に通勤、通所、通学している者は、島根県外に現住所を有していても参加できるものとする。

10．障がい・年齢区分

（１）参加できる障がい区分は競技によって異なる。申し込み者において責任を持って判定・申告すること。

（２）主催者は申し込み書類の申告に基づいて組み合わせ等を決定する。

（３）出場区分に当てはまらない場合は、オープン参加（記録は公式記録とならず、順位をつけない）を認めることがある。

（４）年齢区分を設ける競技については次のとおりとする。

①身体障がい者　１部…３９歳以下、２部…４０歳以上

②知的障がい者　少年の部…１９歳以下、青年の部…２０歳～３５歳、壮年の部…３６歳以上

③精神障がい者　１部…３９歳以下、２部…４０歳以上

11．申し込み方法

（１）提出書類：参加を希望する競技会ごとに次の書類を提出する。

①第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 参加申し込み書（全競技共通）…様式①５８ページ。

②第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 各競技会参加申し込み書…様式②５９ページ。

※<u>全国障害者スポーツ大会出場希望者は、上記に加え別途必要書類を提出する。</u>

詳細は、第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会個人競技選手募集要領を参照…９ページ。

（２）申し込み方法：郵送、ファックス、Ｅメール、持ち込みのいずれか。

（３）申し込み期限：各競技会開催要領に記載。

<u>各競技会別申し込み期限を厳守すること。</u>

申し込み期限を過ぎた申し込みは、原則として受け付けない。

（４）申込確認：申し込み締め切り後、事務局より参加決定通知書を送付する。

12. 参加料・弁当

（１）参加選手は、参加料として１人２００円を納める。

（２）各競技会の弁当代金は６００円（税込み・お茶付き）とする。

（３）支払いについて

①申し込み締め切り後、参加決定通知とともに払込取扱票を送付する。

②決定通知に記載の参加料と弁当代金の合計額を、所定の期日までに下記の口座へ払い込むこと。※手数料は無料

ゆうちょ銀行　口座番号０１３５０－５　５６５５３

公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会

※参加料・弁当代は、競技会の３日前までに連絡があった場合、返金する。

13. 組み合わせ・競技スケジュール

（１）競技の組み合わせは主催者側で行い、大会当日配布するプログラムに掲載する。

（２）競技スケジュール等は、島根県障害者スポーツ協会のホームページに掲載する。

14. 変更・欠場

（１）選手変更は下記①～③を全て満たすものに限り、変更を認めることとする。

①同一競技（種目）での出場であること

②・身体障がい者は、障がい区分が同一であること

・知的障がい者・精神障がい者は、年齢区分が同一であること

※団体戦・団体競技についての選手変更は、障がい（身体・知的・精神）が同じであれば区分を問わない。

③同性であること

（２）参加決定通知後、選手変更及び欠場が生じた場合は、所定の「変更届」「欠場届」に必要事項を記入のうえ、各競技会開催日の少なくとも２週間以上前までに、事務局に提出すること。

15. ゼッケン

各競技の実施要項にゼッケン着用の定めのあるものは、競技会当日主催者が交付する。布の色は次の通りとし、数字は黒色とする。

○身体障がい　肢体不自由 … 白色

視覚障がい … 薄緑色

聴覚障がい … 黄色

内部障がい … 水色

○知的障がい …… 桃色

○精神障がい …… 薄茶色

16. 中止の場合の案内

荒天等によりやむなく中止とする場合は、競技会前日の午後５時までに島根県障害者スポーツ協会のホームページに掲載する。

17. その他

（１）全競技参加人数により、競技方法を変更する場合がある。

（２）選手の健康管理は申し込み責任者において留意すること。また当日は十分に準備運動を行うこと。

（３）競技にあたっての介助者の付き添いは、選手１名につき１名とするが、「全国障害者スポーツ大会競技規則」に定めのある場合はこれに準ずる。

（４）スポーツ傷害保険は、主催者側で取りまとめて加入する。

（５）競技中の事故・ケガ等については、応急処置以外主催者は責任を負わない。

（６）喫煙・飲食は、会場内または近辺の指定された場所で行うこと。

（７）下記の「申し込みにあたって」の内容を確認・了承のうえ、選手ごとに各競技会別参加申し込み名簿（様式②）のチェック欄に☑を記入してください。同意されない場合は、その理由と希望する対応について各自別紙（様式は自由）にて提出してください。

「申し込みにあたって」

①当日配付プログラムと会場内掲示板に、氏名（団体競技はチーム名のみ）・年齢区分・障がい区分を掲載します。あらかじめご了承ください。

②本会のホームページに、競技写真と結果を掲載することがあります。また競技会当日は、テレビ・新聞等報道機関が取材する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがありますので、あらかじめご了承ください。

③個人情報は、本大会実施に係る業務にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。管理は、「(公財) 島根県障害者スポーツ協会個人情報規程」に基づき行い、無断で第三者に提供することはありません。

↓

<u>各競技会別参加申し込み名簿（５９ページから６９ページ）のチェック欄に、選手ごとに✔ を入れてください。</u>

―――――――――――― 本件に関する送付先・問い合せ先 ――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内 島根県障害者スポーツ協会

〒６９０－００１１ 松江市東津田町１７４１番地３ いきいきプラザ島根５階

電　話：０８５２－２０－７７７０　　ﾌｧｯｸｽ：０８５２－３２－５９８２

メール：　info_office@spokyo.org

新型コロナウイルス感染予防について

１．体調管理チェックシートの提出について

①参加者、介助者（引率者を含む）は、競技会当日、別に定める「体調管理チェックシート」を、必ず受付で提出すること。

②参加者、介助者（引率者を含む）は、下記に該当する場合、競技会への参加を認めない。

(1)「体調管理チェックシート」を提出できない場合。また、記載漏れがある場合。

(2)競技会当日、受付での検温で、３７．５度以上または平素の体温よりも高いと認められる場合。

２．感染症対策に関する留意事項について

①以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

(1)体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。

(2)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

(3)過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

②マスクを持参すること。（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には、必ずマスクを着用すること。）

③厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（ＣＯＣＯＡ）の活用に努めること。

④こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

⑤他の参加者、主催者スタッフ等との間隔〔できるだけ２ｍを目安に（最低１ｍ）〕を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）

⑥大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

⑦感染防止のために主催者が決定したその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

⑧大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

３．競技会の中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、参加申し込み完了後に競技会を中止とする場合もある。日本政府又は各都道府県による緊急事態宣言が発令した場合についても同様とする。その際は、公益財団法人島根県障害者スポーツ協会のホームページで周知する。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「体調管理チェックシート」

①本紙は、競技会において新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的として協力を願うものです。

②競技会の２週間前から記入し、競技会開催日当日に受付に提出願います。

③競技会に参加する全ての関係者（参加者、介助者、引率者等）が提出してください。

④体温は０．１℃単位で記入し、各項目に該当しない場合は「×」、該当する場合は「○」を記入願います。

⑤競技会終了後、２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、当協会へ速やかに濃厚接触者の有無等についてご連絡ください。

氏名		電話番号	―　　―

番号	チェック項目（×または○を記入）		例	14日前	13日前	12日前	11日前	10日前	９日前	８日前
		日付	４／23（金）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）
1	体温		36.2℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	のどの痛みがある		×							
3	咳（せき）がでる		×							
4	痰（たん）がでたり、からんだりする		×							
5	鼻水、鼻づまりがある※アレルギーを除く		×							
6	頭が痛い		×							
7	体のだるさがある		×							
8	発熱の症状がある		×							
9	息苦しさがある		×							
10	味覚異常（味がしない）		×							
11	嗅覚異常（匂いがしない）		×							

番号	チェック項目（×または○を記入）		７日前	６日前	５日前	４日前	３日前	２日前	１日前	当　日
		日付	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）
1	体温		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	のどの痛みがある									
3	咳（せき）がでる									
4	痰（たん）がでたり、からんだりする									
5	鼻水、鼻づまりがある※アレルギーを除く									
6	頭が痛い									
7	体のだるさがある									
8	発熱の症状がある									
9	息苦しさがある									
10	味覚異常（味がしない）									
11	嗅覚異常（匂いがしない）									

※当てはまる事項を□にチェックしください。（以下に当てはまらない場合は、自主的に参加・来場を見合わせてください。）

□　同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいない。

□　過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触は無い。

第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会個人競技選手募集要項

１．目　的

この大会へ選手を派遣することにより、競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、社会の障がいへの理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的とする。

２．大会日程・派遣日程

大会日程：２０２１年１０月２３日（土）～２５日（月）

派遣日程：２０２１年１０月２１日（木）～２６日（火）５泊６日

３．開 催 県

三重県

４．派遣予定人数

（１）派遣選手２２名…身体障がい者１０名、知的障がい者１０名・精神障がい者２名

（２）派遣役員３０名

５．競技別派遣予定人数

（１）陸　　上：身体３名　知的６名

（２）水　　泳：身体１名　知的１名

（３）ア ー チ ェ リ ー：身体１名　　―

（４）卓　　球：身体１名　知的１名　精神２名（男１名、女１名）

（５）フライングディスク：身体２名　知的１名

（６）ボ ウ リ ン グ：　―　　知的１名

（７）ボ　ッ　チ　ャ：身体２名　　―

６．大会までの主な予定

（１）選手選考記録会　　島根県障がい者スポーツ大会各競技会

（２）選手選考会（役員のみ）　６月中旬　いきいきプラザ島根研修室

（３）決定選手強化練習会　　松江市営陸上競技場他

※強化練習会の通知は、派遣決定選手及び所属長へ別途行う。

７．応募資格

（１）次の全ての条件を満たす者。

○２０２１年４月１日現在、１３歳以上の障がい者とする。

○身体障がい者は、身体障害者福祉法（昭和２４年法律第２８３号）第１５条の規定により、身体障害者手帳の交付を受けた者。

○知的障がい者は、厚生事務次官通知（昭和４８年９月２７日厚生省発児第１５６条）による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。

○精神障がい者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和２５年法律第１２３号）第４５条により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。

（２）申し込み時に島根県内に現住所（住民票のある地）を有する者。ただし、島根県内の企業、施設、学校等に通勤、通所、通学している者は、島根県外に現住所を有していても参加できるものとする。

（３）健康上大会への出場に支障がない者。

（４）原則として、島根県障がい者スポーツ大会、強化練習会、全国大会派遣日程全てに参加できる者。

（５）将来、地域・クラブ等のリーダーとして期待できる熱意のある者。

※出場希望競技の島根県障がい者スポーツ大会に参加しない者は、原則として選考対象となりません。

（６）施設の利用者及び在学中の者は、所属長の推薦または了承を得ることとする。

８．申し込み方法

（１）提出書類

島根県障がい者スポーツ大会への申し込みに加え、次の書類を提出する。

①第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会 個人競技参加申し込み書（全競技共通）…様式③（７２ページ）

②第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会（三重県大会） 個人競技参加申し込み書（競技別）…様式④（７３ページ～７８ページ）

※なお、「ボッチャ競技」の申し込み用紙は、この要項には定めていません。

③第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会 個人競技選手問診票 …様式⑤（７９ページ）

④出場資格の証明書類

（ア）身体障害者手帳・療育手帳（愛の手帳、みどりの手帳等）・精神障害者保健福祉手帳の写し（住所・氏名・生年月日・障がい名・等級・手帳番号がわかる部分）を提出する。

※重複障がいのある選手は、重複する障がいの手帳の写しも提出する。

（イ）知的障がい者で療育手帳（愛の手帳・みどりの手帳等）の取得対象に準ずる障がいのある者は、以下のいずれか書類を提出する。

ａ．児童相談所・知的障がい者更生相談所長の判定所の写し

ｂ．医師の診断書

ｃ．在籍（在学、通所、入所）または卒業（退所）先の所属長による証明書

ｃ．については、以下の内容が明記されていること（様式は問わない）

①証明年月日（令和３年４月１日以降であること）

②在籍（在学、通所、入所）または卒業（退所）先の団体及び所属長の名（公印）

③対象選手に関する情報

（指名、性別、生年月日及び令和３年４月１日現在の年齢）

④現住所

⑤在籍（学）期間

⑥証明文（例「上の者は、療育手帳（愛の手帳、みどりの手帳）の取得の対象に準ずる障がいがあることを証明します。」）

（ウ）精神障がい者で精神障害者保健福祉手帳の写しを提出できない場合、以下の書類を提出する。

ａ．精神保健福祉センター所長の精神障害者保健福祉手帳交付済証明書の原本または判定書の写し

ｂ．精神疾患のため精神科等で医療を受ける旨の通院証明書（原本）

ｂ．については、以下の内容が明記されていること（様式は問わない）

①証明年月日（令和３年４月１日以降であること）

②通院医療機関の主治医の署名捺印

③対象選手に関する情報

（指名、性別、生年月日及び令和３年４月１日現在の年齢）

④現住所

⑤通院期間

⑥証明文（例「上の者が通院したことを証明します。」）

ｃ．自立支援医療（精神通院）受給者証の写し

有効期間及び受給更新予定期間が大会申し込み日と大会日程内であること。

（２）申し込み期限

島根県障がい者スポーツ大会各競技会の申し込み期限と同日とする。

（３）申し込み先

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内 島根県障害者スポーツ協会

〒６９０－００１１ 松江市東津田町１７４１番地３ いきいきプラザ島根５階

電　話：０８５２－２０－７７７０　　ﾌｧｯｸｽ：０８５２－３２－５９８２

メール：　info_office@spokyo.org

（４）注意事項

①申し込みは１競技のみとする。

②提出期限を厳守する。提出期限を過ぎた申し込みは受け付けない。

③提出書類は全て漏れのないように記入すること。

④陸上・水泳・フライングディスク競技への出場希望選手は、原則として１選手につき２種目（リレーを除く）の出場とする。

⑤「様式④」に自己記録記入欄のある競技は、１年以内の記録を記入すること。

９．派遣選手決定までの流れ

（１）参加希望選手は、出場希望競技の第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会に参加する。

※この大会は選手選考記録会を兼ねている。

↓

（２）事務局は上記大会での記録を参考に選考委員による選考会を開催し、派遣選手及び旗手を決定する。

↓

（３）事務局は全ての参加希望選手に対して派遣の決定又は不決定について通知する。

10．その他

（１）選手選考記録会、強化練習会及び全国障害者スポーツ大会期間中のスポーツ傷害保険は、主催者側で加入する。

（２）派遣選手に決定した場合、強化練習会場への往復交通費、出発日・到着日の集合・解散場所への往復交通費については自己負担とする。その他の派遣に関しての交通費等は主催者側の負担とする。

（３）派遣決定選手は、島根県障害者スポーツ協会のホームページに、氏名、所属、出場競技を公表します。

（４）大会当日は、競技会場にテレビ・新聞等報道機関が来場することが予想され、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、競技プログラムや大会報告書等の冊子並びにホームページ等に障がい区分（重複障がいを含む）、年齢区分、氏名、選手団名、競技中写真及び競技記録等を掲載するとともに、場合によってインターネット及び開・閉会式会場等にて競技会の模様を生中継又は録画にて配信されますので、あらかじめご了承のうえお申し込みください。

（５）個人情報については標記大会に係る業務にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。管理については「（公財）島根県障害者スポーツ協会個人情報規程」に基づき行い、無断で第三者に提供することはありません。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「水泳」競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

松江市

４．主　管（予定）

一般財団法人島根県水泳連盟

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　松江市教育委員会　公益財団法人松江体育協会　社会福祉法人松江市社会福祉協議会　松江市身障者福祉協会　松江市障害者スポーツ協会　松江市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年４月２４日（土）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限

２０２１年４月７日（水）

９．会　場

島根県立水泳プール

所在地：松江市上乃木１０－４－２　　電話：０８５２－２６－４５８３

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――――― 本件に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会

〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階

電　話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２

メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）「水泳」競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び（公財）日本水泳連盟制定競泳競技規則、並びに本大会申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

（１）身体障がい者は、障がい区分別、男女別、年齢区分別とする。

（２）知的障がい者は、男女別、年齢区分別とする。

（３）精神障がい者は、男女別、年齢区分別とする。

※詳細は「水泳競技種目・障がい区分表」を参照すること。なお、定める区分に該当しない競技に参加を希望する場合、オープン参加（記録は公式記録とならず、順位をつけない）を認める。

３．服　　装

水着を着用する。ＦＩＮＡの公認した水着が望ましい。

４．招 集 等

（１）招集

①招集は競技会場内で行うので競技役員の指示に従うこと。

②招集開始時間は競技開始の２０分前、招集完了時間は競技開始１０分前とする。

③招集に遅れた者は、棄権したものとみなす。

（２）誘導

競技場内での誘導は、競技役員が行う。

（３）選手紹介

競技前の選手紹介の際は、いすから立つものとする。ただし、車いす使用者については、片手をあげるものとする。

５．練習時間

開会式終了後から２０分間とする。

６．競技方法

（１）全ての競技種目は、各組ごとの決勝とする。

（２）競技順序は、プログラム記載の順序とする。

（３）出発合図はイングリッシュコールで行う。

（４）出発について

①自由形、平泳ぎ、バタフライ、２００ｍリレーのスタートは、台上、台の横からの飛び込み、または水中スタートを選択できる。

（令和２年度からの改正点）水泳競技における飛び込みスタートについて

スタートにおいて「水中スタートしなければならない障害区分」が存在するが、令和３年度（三重大会）より、スタート方法は、選手が水中スタートまたは飛び込みスタートを選択できる。

②自由形、平泳ぎ、バタフライの水中スタートは、少なくとも片手でスターティンググリップを含むプールの壁をつかんだ状態からスタートしなければならない。身体的理由により壁をつかめない場合は、水面上の身体の一部がプールの壁についていればよい。また、審判長の判断により安全な用具の使用も認められる。

③背泳ぎのスタートにおいて身体的理由により両方の手でスターティンググリップをつかめない者は、少なくとも片手でスターティンググリップを含むプールの壁をつかみ、壁側を向いた状態からスタートしなければならない。壁をつかめない場合は、水面上の身体の一部がプールの壁についていればよい。また、審判長の判断により安全な用具の使用も認められる。

④身体的理由により壁をつかむことができず、かつ、身体の一部を壁につけることができない場合には、スタートの合図がなされるまで足をプールの壁につけて保持してもらってもよい。ただし、スタートの際に競技者を支えている者は競技者に勢いを与えてはならず、その場合はフォルススタートとなる。

⑤次の障がい区分の者は、スタートの際、必要であれば競技役員または許可された者が、身体を支えるだけのために補助をしてもよい。この場合、競技者を支えている者はスタートの勢いを与えてはならない。

【障がい区分…１１、１３、１７、１９、２２】

（５）競技について

①義肢、装具、足ひれや手につけるパドルなどの使用は認めない。

②障がい区分２３の者および同等の障がいが重複する者のゴールとターンでは、競技役員または許可された者が安全な棒などを使って身体をたたいて合図（タッピング）しなければならない。障がい区分２４の者に行う場合は許可を得なければならない。

③自由形競技に限り、プールの底に立つことは失格とならないが歩くことは許されない。競技中にロープを引っ張ってはならない。

④競技中は、いかなる速力・浮力または耐久力を助けるような仕掛けもしくは水着を使用したり、着用してはならない。ただし、障がい区分２２は、浮力を助けるものは認める。

⑤救護を要する競技者について、とくに申し出があり審判長が認めた場合のみ、競技役員は競技者に有利となる動作をしない限り、同じレーンに入水してもよい。

⑥身体障がい者は、規定を適用できない場合もあり、規定を緩和せざるをえないことがある。しかし競技者は、この規定を十分理解し、規定に沿う努力が必要である。

（６）自由形

①自由形は、どのような泳ぎ方で泳いでもよい。

②折り返しおよびゴールタッチでは、泳者の体の一部が壁に触れなければならない。

③スタートおよび折り返しの後、体が完全に水没してもよい距離１５ｍを除き、競技中は泳者の体の一部が水面上に出ていなければならない。ただし重度身体障害者の場合、１ストロークサイクルに１回、泳者の体の一部が水面上に出ることとする。

（７）背泳ぎ

①出発合図がなされる前、競技者はスタート台に向き、両手でスターティンググリップを持っていなければならない。排水溝に足を掛けたり、排水溝の縁に足の指をかけたりしてはならない（プールの縁、タッチ板の上端についても同様とする）。バックストロークレッジを使用する場合は、つま先はタッチ板に接していなければならない。ただし、身体的理由により両手でスターティンググリップを持つことができない場合およびつま先を接することができない場合はこの限りではない。

②折り返し動作中を除き、競技中は常にあおむけの姿勢で泳がなければならない。あおむけの姿勢とは、頭部を除き、肩の回転角度が水面に対し９０度であることをいう。

③競技中は、泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間およびスタート後、折り返し後の壁から１５m以内の距離では体が完全に水没していてもよいが、壁から１５m地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。だたし、重度身体障がい者の場合、１ストロークサイクルに１回、泳者の体の一部が水面上に出ることとする。

④折り返しを行っている間に、泳者の体の一部が自レーンの壁に触れなければならない。折り返し動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後はターンを始めるために、速やかに一連の動作として、片腕あるいは同時の両腕のかきを使用することができる。足が壁から離れた時には、あおむけの姿勢に戻っていなければならない。

⑤ゴールタッチの際、泳者はあおむけの姿勢で自レーンの壁に触れなければならない。

（８）平泳ぎ

①スタートおよび折り返し後の一かき目は完全に脚のところまで持って行くことができる。その間泳者は水没状態であってもよい。スタート後、折り返し後に、最初の平泳ぎの蹴りの前にバタフライキックが１回許される。

②スタートと折り返しの後の最初の一かきの始まりから、体はうつぶせでなければならない。いかなる時でもあおむけになってはならないが、折り返し動作中は、壁に手がついた後、うつぶせ状態でなくてもよい。ただし足が壁から離れた時には、うつぶせ状態でなければならない。競技開始から、競技を通して泳ぎのサイクルは、１回の腕のかきと１回の脚の蹴りをこの順序で行う組み合わせでなければならない。両腕の動作は、同時に、左右対称で行わなければならず、交互に動かしてはならない。ただし、下肢障がいで一蹴りの動作ができない者は一かきが、上肢障がいで一かきの動作ができない者は一蹴りが、一連の動作とみなされる。

③両手は腕より一緒に胸より水面、水中または水上から前方へ揃えて伸ばし、水面または水面下をかかねばならない。肘は、折り返し前の最後の一かき、折り返しの動作中およびゴールにおける最後の一かきを除き、水中に入っていなければならない。両手は、スタートおよび折り返しの後の一かきを除き、ヒップラインより後ろに戻してはならない。

④泳ぎの各サイクルの間に頭が水面に出なければならない。二かき目の両腕が最も幅の広い部分で、かつ両手が内側に向かう前まで、頭の一部が水面上に出ていなければならない。両脚の動作は、同時に、左右対称でなければならず、交互に動かしてはならない。

⑤両脚は推進力を得る際は外側に向かわなければならない。交互に動かすこと、下方へのバタフライキックは①を除いて許されない。足が水面から出ることは、下方へのバタフライキックとならない限り許される。

⑥折り返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折り返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りに続かない腕のかきだけになってもよい。最後のサイクルの間に頭が水面上に出れば、タッチの最後の一かきの後は頭が水没してもよい。

※①～⑥は、身体的理由により不可能な動作についてはこの限りではない。

（9）バタフライ

①スタートおよび折り返し後、最初の腕のかき始めからは身体はうつぶせでなければならない。水中でのサイドキックは許される。折り返し動作中は、壁に手がついた後、うつぶせ状態でなくてもよい。ただし、足が壁から離れた時には、うつぶせ状態でなければならない。

②競技中、両腕は水面の上を同時に前方に運び、水中を同時に後方へ運ばなければならない、

③全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。平泳ぎの足蹴りは許されない。

④折り返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。

⑤泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回のキックと一かきが許される。スタートおよび折り返しの後、体は完全に水没してもよいが、壁から１５m地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。

※②～④は、身体的理由により不可能な動作についてはこの限りではない。

(10) リレー

①リレーは男女混成で編成する。

②途中計時は行わない。

7．その他

（1）プールサイドでの事故に十分注意する。

（2）プール内は土足厳禁とする。

（3）選手は必ずシャワーに入ることとする。

水泳競技種目 障がい区分表

身体障がい　◎男女別、３年齢区分別
○１部 ●２部
知的障がい　◎男女別、３年齢区分別
精神障がい　◎男女別、２年齢区分別
△男女混合（年齢区分なし）

			区分番号	障がい区分	個人競技								団体競技	
					自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		ﾊﾞﾀﾌﾗｲ			
					25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m	4×25mリレー	4×50mリレー
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			2	片前腕切断または、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			3	片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			4	両前腕切断または、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			5	両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		下肢	6	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			7	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			8	両下腿切断または、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			9	両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		上下肢	10	片上肢切断および片下肢切断 片上肢不完全および片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
			11	多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		体幹	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	2	脳原性麻痺以外の車いす使用	13	第7頚髄まで残存	◎	◎	◎		◎				△	△
			14	第8頚髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			15	下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			16	下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	3	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	17	四肢麻痺（車いす常用）または、上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎					
			18	両下肢麻痺または、 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎			
			20	その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			21	その他	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	4		22	浮具使用	◎	◎	◎		◎					
視覚障がい			23	視力0から0.01まで	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			24	その他の視覚障がい	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい			25	聴覚障がい	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
知的障がい			26	知的障がい	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△
精神障がい			27	精神障がい	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△

※　　は全国障害者スポーツ大会種目には含まれない。

※リレーは男女混合とする。

※区分22は団体競技に出場できない。

※視力は「矯正後の両眼視力」の和で判定する。視力の和を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0．01とする。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「ボウリング」競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

松江市

４．主　管（予定）

島根県ボウリング連盟

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　松江市教育委員会　公益財団法人松江体育協会　社会福祉法人松江市社会福祉協議会　松江市身障者福祉協会　松江市障害者スポーツ協会　松江市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年４月２４日（土）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限

２０２１年４月７日（水）

９．会　場

しんじ湖ボウル

所在地：松江市乃木福富町３２９　　電話：０８５２－２４－５４６１

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――――― 本件に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会

〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階

電　話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２

メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）「ボウリング」競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び（公財）全日本ボウリング協会制定「ボウリング競技規則」、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

（１）一般レーン

身体障がい、知的障がい、精神障がいの３区分且つ、男女別、年齢区分別とする。

（２）ノーガターレーン

区分を設けない。

３．服　　装

（１）ボウリング競技をするうえで支障のない服装とする。

（２）ソックスは必ず履くこととする。

（３）ゼッケンは主催者側が交付するものを使用し、競技用服装の背部につける。

４．練習時間

開会式終了後の１０分間を練習時間とする。

５．招　　集

（１）招集場所は組み合わせ表記載の各ボウラーズベンチ内とする。

（２）招集開始は競技役員が放送で案内し、招集完了時間は競技開始の１０分前とする。

６．競技方法

（１）個人競技

①一般部門かノーガター部門のどちらかを選択する。

②２ゲーム行い、合計得点により順位を決定する。

③ゲームは、基本的に１チーム（４人）で２レーンを使用し、選手間の距離の確保に努める。

ただし、人数は申し込み状況によって変わる場合がある。

④ゲームは、同一レーンで２ゲーム続けて投げることとする。（ヨーロッパ方式）

⑤同点の場合は次のａ～ｄの順で決定する。

ａ．２ゲームの得点が同点の場合は、２ゲームの得点差の少ない者を上位とする。

ｂ．得点差が同じ場合は、ストライク数の多いものを上位とする。

ｃ．ストライク数が同じ場合は、スペアー数の多いものを上位とする。

ｄ．スペアー数が同じ場合は、ともに勝者とする。

⑥隣り合ったレーンで同時に投球体勢に入った場合は、右側のレーンの選手優先を厳守する。

（２）団体競技

①個人競技出場者で１チーム４名の合計得点を競う。

②同点の場合は個人競技⑤のｂ～ｄの順で決定する。

７．その他

（１）ボウラーズベンチ内に入る者は、選手・付添者・役員に関わらず、全員ボウリングシューズを履くこと。会場のハウスシューズをレンタルする場合、料金は不要とする。競技開始までに各自で選んで準備し、履き替えはボウラーズベンチ内で行うこと。競技終了後は返却場所に返却すること。

（２）ボウリング場のハウスボールを使用する選手は、ボール置き場に置いてあるボールの中から選んで使用し、競技終了後は元の場所へ返却すること。

（３）ボールを拭くタオルは、競技会場で用意する。

（４）オートマチックスコアーの操作、個人記録の記入はすべて競技役員が行う。

（５）ボウラーズベンチ内への付添者の立ち入りは、選手１名に対して１名までとする。

（６）選手は競技中ボウラーズベンチを長時間離れてはならない。トイレ等やむを得ず離れるときは、必ず競技役員の許可を得てから離れること。

（７）身体障がい者で、自力で投球ができない選手に限り、投球補助台の使用を許可する。ただし、補助台がファールラインから出ないように注意する。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「陸上」競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

松江市

４．主　管（予定　順不同）

一般財団法人島根陸上競技協会　松江市陸上競技協会　島根県障がい者スポーツ指導者協議会

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　松江市教育委員会　公益財団法人松江体育協会　社会福祉法人松江市社会福祉協議会　松江市身障者福祉協会　松江市障害者スポーツ協会　松江市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年５月８日（土）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限

２０２１年4月１２日（月）

９．会　場

松江市営陸上競技場

所在地：松江市上乃木１０－４－１　　電話：０８５２-２１－３５００

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――― 本件に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電　話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）「陸上」競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び同年度の（公財）日本陸上競技連盟制定「日本陸上競技連盟競技規則」、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

（１）①身体障がい者は、障がい区分別、男女別、年齢区分別とする。
②知的障がい者は、男女別、年齢区分別とする。
③精神障がい者は、男女別、年齢区分別とする。

（２）重複障がいの者は、主たる障がい区分で参加する。

（３）１人２種目まで出場できる。（４×１００ｍリレーを除く）

（４）４×１００ｍリレーは男女混合とする。参加区分は身体障がい、知的障がい、精神障がいの３区分のみとし、年齢区分は設けない。

（５）走高跳については年齢区分を設けない。

※詳細は「陸上競技種目・障がい区分表」を参照すること。なお、定める区分に該当しない競技に参加を希望する場合、オープン参加（記録は公式記録とならず、順位をつけない）を認めるが、その種目を（３）に定める参加種目数に含める。

３．服装

（１）運動に適した服装とする。

（２） ナンバーカードは主催者側が交付するものを使用し、競技用服装の胸部と背部につける（走高跳の場合は、胸背部のいずれか一方でよい）。

４．練習について

大会当日の競技場内での練習は禁止する。ウォーミングアップ場所は競技場周辺とするが、競技役員の指示に従って行うこと（投てき競技は危険なので禁止する）。

５．招集

（１）招集場所は、１００ｍスタート付近に設ける。

（２）招集開始時間…競技開始４０分前
招集完了時間…競技開始２０分前

（３）選手は、当該種目の招集時間になったら、招集完了５分前までに招集場所に集合し係員により点呼を受け、その場で待機する。待機中所用（トイレ等）でその場を離れる場合は必ず係員に連絡すること。

（４）招集完了時間に遅れた場合は、棄権したものとみなす。

（５） リレー種目に出場するチームは、招集開始予定時刻６０分前までにオーダー用紙を記入し、本部（競技者係）へ提出する。

６．入退場

（１）選手は、競技役員・補助員が競技場内へ誘導する。ただし、介助者が選手に付き添わなければならない場合は、その旨を役員へ申し出ること。

（２） 競技が終了した選手は、競技場出口まで誘導するので、各チームの代表者の責任において、各チーム控え場所まで引率すること。

７．競技方法

（１）全ての競技種目は、各組ごとの決勝とする。

（２）走路及び試技順は、プログラム記載の順序とする。

（３）競技の際に使用する靴は、日本陸上競技連盟競技規則の定めるところによる（競技用靴のスパイクのピンの長さは９ｍｍ以下、走高跳、ソフトボール投げ及びジャベリックスローは１２ｍｍ以下とする等）。また、危険予防上、裸足での参加は認めない。

（４）車椅子は全国障害者スポーツ大会競技規則に定められたものを使用し、競技開始６０分前までに車椅子検査を受ける。

【競走競技】

（１）スタートについては次のとおりとする。

①５０mについてはスタンディングスタートのみとする。またその場合、スターティング・ブロックを使用することはできない。

②１００m・２００m・４００m（４×１００mリレーを含む）においてはクラウチング・スタートをしなくてもよい。ただしスターティング・ブロックを使用することはできない。

③スタートライン及びその前方のグラウンドに、手や足が触れてはならない。車椅子は身体の一部とし、その接地面がスタートラインや左側のラインに触れてはならない。

④ａ．４００mまでの競走においての指示は「オン・ユア・マークス」「セット」の言葉を用いる。

ｂ．４００mを超える競走においては「オン・ユア・マークス」の言葉を用いる。

（２）フライングをした場合は注意とする。

（３）セパレート・レーンで行う競技種目は、４００m走（タイム申告含む）までの競走および４×１００mリレーとし、８００m以上はオープン・レーンとする。

（４）セパレート・レーンにおいて、内側のレーンに入った場合は最下位とする。ただし、直線においては競技者を妨害しない限り降着・失格としない。

（５）セパレート・レーンで行う車椅子の走路の幅は、１レーン分とする。

（６）視覚障がい者で競走競技に出場する競技者は、伴走者をつけることができる。ただし、障がい区分２４の５０mは音源使用のみとし、次のように行う。

①８レーン分の幅を使用して行う。

②１名ずつによるタイムレースとする。

（７）タイム申告競技は、次のとおり行う。

①あらかじめ申告したタイムにどれだけ近い記録を出せるかを競う。

②計測方法は下記のとおりとする。

ａ．自己申告（±１０分の１）したタイムに最も近い者から上位とする。

ｂ．競技計時は１００分の１（同タイムの際の着順決定のため）とする。

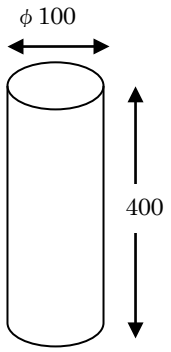
（８）５０m競走で使用する車椅子は日常生活用とする。

（９）車椅子で１００m以上の競走競技に出場する競技者は、ヘルメットを着用して競技しなければならない。

(10) 車椅子で８００m以上の競走競技に出場する競技者は、競技用車椅子（レーサー）を使用しなければならない。

【スラローム競技】

（１）スラロームは次のとおりとする。



①旗門の幅は１．２７m～１．３m、距離は３０mとする。

②競技は原則として２人の競走とし、所要時間によって順位を決定する。

※走路は２および６レーン、または３および７レーンを使用する。

③旗門の構造は次のとおりとする。

ａ．材料は樹脂または適当なもので、転倒させるために最上部に２００ｇ以上の力が必要な円筒

ｂ．製造誤差３mm以内

ｃ．前進用は白色、後進用は赤色

④白色の旗門は前進、赤色の旗門は後進によって通過しなければならない。

⑤スタートラインより６m地点の前進周回旗門と１８m地点の後進周回旗門の通過方法は、次のとおりとする。

・１本目の旗門を右回り（左回り）で１周した後、２本目の旗門を左回り（右回り）で１周し通過すること。

⑥旗門を倒した場合は、１本につき所要時間に５秒を加算する。ただし、倒した旗門に再び触れた場合は違反としない。

⑦通過の方法を間違えたままフィニッシュした場合は失格とする。ただし、フィニッシュラインに到達するまでならばやり直すことができる。その場合の反則や所要時間は全ての所要時間に含まれる。
⑧スタートとフィニッシュは競走競技と同様に扱う。
⑨計時は手動とする。

【跳躍競技】
（１）走高跳を除き、各競技者は３回までの試技ができることとし、練習は２回とする。
（２）視覚部門の走高跳は、助走してもしなくてもよいが、片足で踏み切らなければならない。
（３）立幅跳の踏み切りは、両足同時に踏み切るものとする。
（４）踏切線と砂場の距離は次のとおりとし、走幅跳の競技者は申し込み時にどちらの踏切線を使うかを申し出なければならない。※ただし、視覚部門の走幅跳は１ｍのみとする。
①立幅跳　０．３ｍ
②走幅跳　１ｍ、２ｍ
（５）視覚部門の区分２５に属する者の走幅跳は、踏切線を示す明確な標識を用意しなければならない。
（６）視覚部門の走幅跳のみ、助走方向や踏切地点を知らせるために声や音響による援助は認められる。
（７）視覚障がい者・知的障がい者・精神障がい者の走幅跳において、踏切板は設けるが、記録は踏切位置からの実測とする。
（８）走高跳のバーの高さは１００㎝から始め、２㎝ずつ上げる。

【投てき競技】
（１）各競技者は３回までの試技ができることとし、練習は２回とする。なお車椅子使用者については、原則として３回連続で投げるものとする。車椅子使用者以外の投てきにおいても、運営上３回連続した方がよいと判断した場合には連投してもさしつかえない。
（２）ビーンバッグ投げは、次のとおり行う。
①使用するビーンバッグの構造は次のとおりとする。
ａ．材料：１２㎝×１２㎝の布などの袋に、よく乾燥した大豆等を入れたもの
ｂ．重量：１５０ｇ
ｃ．製造誤差：１０％以内
②原則として円盤投げのサークルを使用し、有効試技は９０度の角度をなすラインの内側に落下したものとする。
③ビーンバッグを足に乗せてけり出すことなども含め、投げ方は自由である。
（３）ソフトボール投げは、やり投げの規則に準じて行うが投げ方は自由である。
使用球は、ソフトボール（協会３号ボール〈ゴム球〉）とする。
（４）ジャベリックスローは、やり投げの規則に準じ、握りの部分を握り、肩または投げる方の腕の上で投げ、振り回したりしてはならないものとする。
（５）砲丸の重量は、次の通りとする。
○男子
障がい区分１～９、１３～１５、２４～２６　…４kg
障がい区分１２、１９～２２　…２．７２１kg
○女子
２．７２１kg
（６）キックボールは、次のとおり行う。（出場可能区分…知的障がい者、精神障がい者）
①原則として、キックしたボールが一度空中に上がり、落下した地点の距離を測定する。
②助走距離は３ｍ以内とする。（助走しなくてもよい。）
③ボールを蹴った後、ラインを踏んだり越えたりしてもファールとはならない。
④使用球は、ドッジボール（ゴム製ミカサ２号球）とする。
（７）視覚障がい者は、投てき方向を知らせるために試技に入る前に限り声や音響による援助は認められる。

陸上競技種目 障がい区分表

◎男女別・年齢区分別　△男女混合・年齢区分なし　▲男女別・年齢区分なし

			区分番号	障がい区分	個人競技																		4×100mリレー
					競走											跳躍			投てき					
					50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	50mタイム申告	100mタイム申告	200mタイム申告	400mタイム申告	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーンバッグ投	キックボール	
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、 片上肢完全	◎	◎				◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			△
			2	両前腕切断または、片前腕および片上腕切断、両上肢不完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎	▲	◎	◎						
			3	両上腕切断または、両上肢完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎	▲	◎	◎						
		下肢	4	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			
			5	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			
			6	両下腿切断	◎	◎						◎	◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎			
			7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	◎							◎	◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎			
			8	両大腿切断または、両下肢完全								◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎			
		体幹	9	体幹	◎	◎						◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用・使用	10	第6頚髄まで残存	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎							◎		
			11	第7頚髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							◎		
			12	第8頚髄まで残存							◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎			
			13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎			
			14	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎		◎			◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎			
			15	その他の車いす								◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎			
	3	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	16	四肢麻痺で車いす使用	◎						◎	◎	◎	◎	◎							◎		
			17	けって移動	◎						◎	◎	◎	◎	◎							◎		
			18	片上下肢で車いす使用	◎						◎	◎	◎	◎	◎					◎	◎			
			19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎			
			20	その他走不能								◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎			
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			
			22	その他走可能	◎	◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			
	4		23	電動車いす常用							◎	◎	◎	◎	◎							◎		
視覚障がい			24	視力0から0．01まで	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			
			25	その他の視覚障がい	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	▲	◎	◎	◎	◎	◎			
聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい			26	聴覚障がい	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	▲	◎	◎	◎	◎	◎			
知的障がい			27	知的障がい	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	▲	◎	◎		◎	◎		◎	△
内部障がい			28	ぼうこう又は直腸機能障がい	◎					◎		◎					◎	◎		◎	◎			
精神障がい			29	精神障がい	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎		◎	△

※4×100mリレーは男女混合とする。
※50mで使用する車いすは日常生活用とする。
※ ［　　］ は全国障害者スポーツ大会種目には含まれない。
※視力は「矯正後の両眼視力」の和で判定する。視力の和を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0．01とする。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「フライングディスク」競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

浜田市

４．主　管（予定）

島根県障害者フライングディスク協会

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　浜田市教育委員会　浜田市体育協会　社会福祉法人浜田市社会福祉協議会　浜田市身体障害者福祉協会　浜田市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年５月１５日（土）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限

２０２１年4月１９日（月）

９．会　場

浜田市陸上競技場

所在地：浜田市黒川町３７３９　　電話：０８５５－２２－２３１０

※雨天時は県立体育館（同市黒川町３７３５）で、アキュラシー競技のみ行う。

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――― 本件に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電　話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）「フライングディスク」競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

以下の２種目、もしくはどちらか１種目に出場することができる。

（１）アキュラシー…障がい、男女、年齢の区分を問わない。
※ディスリート５・ディスリート７のいずれかを選択する。

（２）ディスタンス…男女別とする。
※立位と座位を選択する。

３．服　　装

（１）運動に適した服装とする。

（２）ゼッケンは主催者側が交付するものを使用し、競技用服装の胸部と背部につける。

４．練　　習

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまでは練習を許可するが、当日指定された場所でのみ行うこととする。

５．招　　集

（１）招集開始時間…競技開始２０分前
招集完了時間…競技開始１０分前

（２）招集開始時間になったら選手招集場所に集合し、競技役員の点呼を受けその場に待機する。

６．入 退 場

競技場への入退場は、すべて競技役員の誘導により行う。

７．競技方法

「アキュラシー」

（１）競技場

①サイト（１プレーヤーが競技する競技場）の設置は追い風を原則とする。

②アキュラシーゴールと隣のゴールとの間隔は５ｍ以上とする。

③競技場には吹き流しを設置する。

（２）用具

①ディスク

競技用ディスクは、日本フライングディスク協会公認および推奨品（含む日本障害者フライングディスク連盟公認）の「ファストバックモデル」ディスクで、直径２３．５㎝、重量１００±５ｇとする。

②アキュラシーゴール（標的）

ａ．材質：鋼鉄製で円形部はオレンジ色焼付塗装仕上とする。

ｂ．形状：内径９１．５㎝の円形とする。パイプの径は２．５㎝とする。

ｃ．位置：アキュラシーゴールの前面がスローイングラインと平行で外形の最下部が６１㎝になるように設置する[図１参照]。

③スローイングライン（足留材）

ａ．材質：プラスチック製または木製とする。

ｂ．色：白色

ｃ．形状：長さ１６０㎝、幅６㎝、高さ４㎝とする。

ｄ．止め方：競技場に完全に固定する。

ｅ．スローイングアシストライン（視覚障がい者用補助具）：スローイング方向がわかるように、スローイングライン中央からアキュラシーゴール方向に直角に直径１．５㎝、長さ５０㎝の丸棒を設置する。［図２参照］

④座位の部で使用する椅子は主催者側で用意する。

（３）競技

①種目

ａ．ディスリート・ファイブ：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を５ｍとする。

ｂ．ディスリート・セブン：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を７ｍとする。

②競技方法

ａ．試技は１０投連続して行う。

ｂ．投げ方は自由とする。

ｃ．競技上有利となる用具の使用は認めない。

ｄ．プレーヤーが視覚障がい者の場合は、競技役員がアキュラシーゴール後方３ｍの距離から電子音によってアキュラシーゴール中心部の位置を知らせることができる。

ｅ．試技の時間は、プレーヤーが１投目のディスクを受け取ってから５分とする。５分を超えた試技は無効とする。

③得点

得点は、ディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。逆方向から通過した場合は得点とならない。

④順位の決定

ａ．順位は、得点の多さで決定する。

ｂ．同点の場合は、第１得点を先に挙げた者を上位とする。第１得点が同じ場合は、順次、得点を先に挙げた者を上位とする。

ｃ．ｂの方法によって１位、２位、３位が決定しない場合は、１セット（３投）の再投（追加試技）を行い、得点の多さで順位を決定する。ただし、４位以下の者で同点の場合は、再投は行わず、同順位とする。

ｄ．ｃの方法によって再投を行った結果、同点となり１位、２位、３位が決定しない場合は、ｂの方法によって順位を決定する。

ｅ．再投は、順位が決定するまで最大５セットまで行う。

ｆ．ｅの方法によっても順位が決定しない場合は同順位とする。

⑤反則

試技中に身体の一部や補装具（椅子等を含む）がスローイングラインのプレーヤー側の側面以外に触れたときは反則とする。ただし、フットレストがスローイングラインの上方空間に出ることは反則としない。反則のあった試技は１投とみなすが、得点は無効とする。

「ディスタンス」

（１）競技場

①サイトの設置は追い風を原則とする。

②１サイトは横２０m以上、縦６m以上とする。

③スローイングエリアは、スローイングラインとスローイングエンドラインの幅１．８mとする。［図３参照］

④競技場には吹き流しを設置する。

（２）用具

競技用ディスクおよびスローイングラインは、アキュラシーと同様のものを使用する。

（３）競技

①種目

次の４つの区分に分けて行う。

ａ．座位女子

ｂ．座位男子

ｃ．立位女子

ｄ．立位男子

②競技方法

ａ．プレーヤーはスローイングエリア内で試技しなければならない。

ｂ．プレーヤーは試技の前に１投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので、色は黄色とする。

ｃ．試技は３投連続して行う。

ｄ．投げられたディスクの有効範囲は、競技フィールド前方１８０°とする。

ｅ．距離の計測は、スローイングラインの中央の計測点から、ディスクが最初に地面に触れた点までとする。［図４］

ｆ．投げ方は自由とする。

ｇ．競技上有利となる用具の使用は認めない。

ｈ．試技の時間は、プレーヤーが１投目のディスクを受け取ってから３分とする。３分を超えた試技は無効とする。

ｉ．座位で競技する場合のシートの高さはクッションを含め７５㎝以下とする。

③記録

ａ．記録は、３投の試技で最も距離の遠い着地点を計測する。

ｂ．計測は㎝単位とし、１㎝未満は切り捨てる。

④順位の決定

同順位の場合、１位、２位、３位は１投の再投（追加試技）により決定する。再投は、順位が決定するまで行う。４位以下の者が同記録の場合は、再投は行わず同順位とする。再投の記録は公式記録としない。

⑤反則

ａ．スローイングエリア外から助走をしたときは反則とする。

ｂ．その他のスローイングに関する反則は、アキュラシーと同様に扱うものとする。

「団体競技」

（１）アキュラシーの個人競技に出場した選手のうち、上位３名の合計得点により決定する。

（２）合計得点が同点の場合には、チーム内で１位の選手同士の得点を比較し、先に第１得点を上げたチームを上位とする（以下同点の場合は、２位、３位の選手により決定）。なおこれによっても同じ場合には、双方を１位として取り扱うものとする。

８．その他

雨天の場合は、島根県立体育館（同市黒川町３７３５）で、アキュラシー競技のみ行う。

図１　アキュラシーのサイト

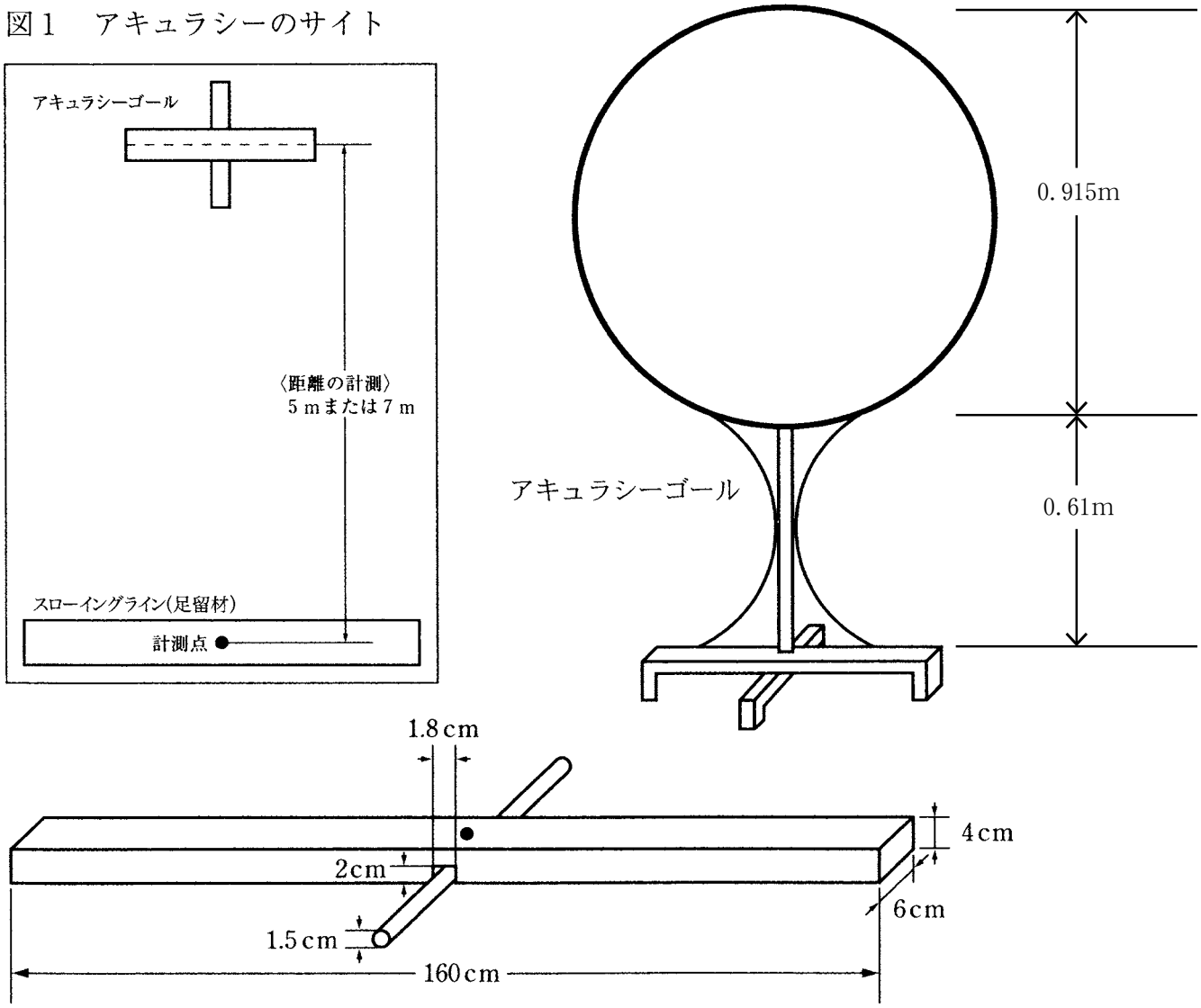


図２　スローイングライン（足留材）

図３　スローイングエリア

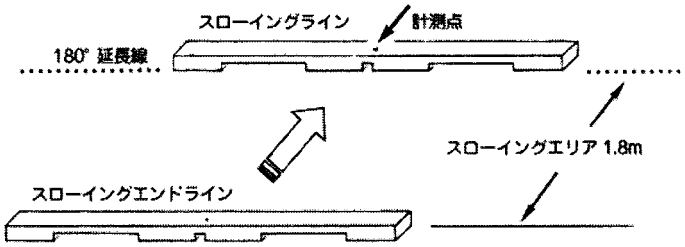
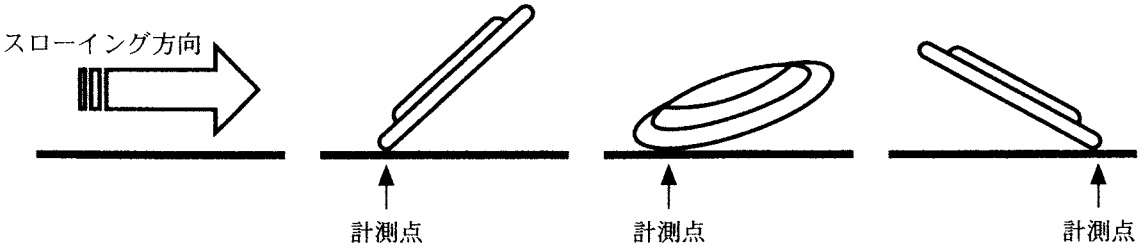


図４　計測点（最初の着地点）



第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「卓球」競技会 開催要項

１．目　的
　この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催
　島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定　順不同）
　出雲市

４．主　管（予定　順不同）
　島根県卓球協会　出雲市卓球協会

５．後　援（予定　順不同）
　公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　出雲市教育委員会　出雲市体育協会　社会福祉法人出雲市社会福祉協議会　出雲市身障者福祉協会　出雲市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）
　島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日
　２０２１年５月２２日（土）
　受　　付：　９時３０分から１０時００分
　競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限日
　２０２１年４月２６日（月）

９．会　場
（１）一般卓球　浜山体育館
　所在地：出雲市大社町北荒木１８６８－１０　電話：０８５３－５３－４５３３

（２）サウンドテーブルテニス（ＳＴＴ）　サン・アビリティーズいずも
　所在地：出雲市今市町北本町３－１－２０　　電話：０８５３－２４－２０４０

10.　その他
　上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――― 本件に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電　話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）「卓球」競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び同年度の（公財）日本卓球協会制定「日本卓球ルール」、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

（１）身体障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の４種目から１種目を選択する。

②団体競技は男女混合で、１チーム３名とし１名の補欠を置くことができる。

※障がい区分番号１５を除く。

（２）知的障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の３種目から１種目を選択する。

②団体競技は男女別で、１チーム３名とし１名の補欠を置くことができる。

（３）精神障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の３種目から１種目を選択する。

②団体競技は男女別で、１チーム３名とし１名の補欠を置くことができる。

３．服　　装

（１）運動に適した服装とする。

（２）ゼッケンは主催者側が交付するものを使用し、競技用服装の背部につける。

４．大会開始前練習時間

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまでは練習を許可する（練習球は各自で用意すること）。

５．招　　集

（１）招集は競技場内で行い、競技進行により放送で案内するので競技役員の指示に従う。

（２）招集完了時間は試合開始の１０分前とする。

６．入 退 場

競技場への入退場は、競技役員の誘導により行う。

７．競技方法

（１）競技進行は、プログラムのとおりとする。

（２）使用する球は主催者が用意する。

（３）個人・団体競技とも原則としてトーナメント方式により勝敗を決める。ただし、参加人数によってはこの限りではない。

（４）個人・団体競技とも５ゲームズマッチの３ゲーム先取により勝敗を決める。

（５）個人競技終了後、団体競技を行う。

（６）団体競技参加チームは試合ごとにオーダー用紙を提出する。

（７）個人・団体競技とも３位決定戦は行わない。

（８）　団体競技について、人数を満たさない場合でもエントリーは可能だが、オープン試合とし、敗者（勝ち進めない）とする。

（９）サービスは、得点の合計が２ポイント増すごとに交代する。また双方が１０ポイントになった時は、順序を変えず１ポイントごとにサービスを交代する。

(10) １ゲームごとにコートをチェンジする。最終ゲームでは、どちらかの選手が５点に達した時点でチェンジエンドとする。

(11) フリーハンド（ラケットを持っていない手の手首より先）がコートに触れても失点としない。ただし、コートを支えて打ったり、テーブルを動かしてはならない。

(12) 身体的理由により、主審の承認を得て、審判員が相手にサービスの仕方について変更を知らせた場合には、サービスの規定を緩和することができる。また、知的障がい者・精神障がい者についても、主審が対戦者の不利にならないと認めた場合、サービスの規定を緩和することができる。

(13) 車椅子使用者は、シートから身体を離してプレーをしてはならない。また、プレー中にフットレストが床についた場合も失点とする。

(14) 車椅子使用者が正しく出されたサービスをレシーブする際、ボールが①レシーバーのコートに触れた後、ネット方向に戻った場合、②レシーバーのコートに止まった場合、③レシーバーのコートに触れた後、どちらかのサイドラインを横切った場合は、ラリーはレットとなる。ただし、「レット」が宣言される前に打球した場合は、そのまま有効となる。

「一般卓球」

（１）５ゲームズマッチの３ゲーム先取により勝敗を決める。

（２）１ゲームの勝敗は１１点先取とする。双方のポイント１０－１０以降は２ポイントリードした競技者を勝ちとする。

（３）ネットの高さは、１５．２５㎝とする。

（４）トスの高さは１６㎝以上とする。

（５）使用球は主催者が用意する。（公財）日本卓球協会公認、ニッタクのプラスチック球（４０㎜、白球）を使用する。

「サウンドテーブルテニス（ＳＴＴ）」

（１）５ゲームズマッチの３ゲーム先取により勝敗を決める。

（２）１ゲームの勝敗は１１点先取とする。双方のポイント１０－１０以降は２ポイントリードした競技者を勝ちとする。

（３）競技領域は、長さ８ｍ、幅６ｍ、高さ２．４ｍ以上とする。ただし、会場によってはこの領域を確保できない場合もある。

（４）使用球は主催者が用意する。（公財）日本障がい者スポーツ協会公認プラスチック球を使用する。

（５）主催者が用意したアイマスクを着用する。

（６）認められた休憩時間、緊急中断を除き、競技は１マッチを通して継続的でなければならない。

卓球競技種目 障がい区分表

◎男女別・年齢区分別　　△男女混合・年齢区分なし　▲男女別・年齢区分なし

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2"></th><th rowspan="2">区分番号</th><th rowspan="2">障がい区分</th><th colspan="3">個人競技</th><th rowspan="2">団体競技</th></tr>
<tr><th>障がい別</th><th>STT</th><th>全障がい</th></tr>
<tr><td rowspan="14">肢体不自由</td><td rowspan="5">1</td><td rowspan="2">上肢障がい</td><td>1</td><td>片上肢障がい</td><td rowspan="2">▲</td><td></td><td rowspan="17">▲</td><td rowspan="15">△</td></tr>
<tr><td>2</td><td>両上肢障がい</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">下肢障がい</td><td>3</td><td>片下腿切断、片下肢不完全</td><td rowspan="3">▲</td><td></td></tr>
<tr><td>4</td><td>片大腿切断、両下腿切断
片下肢完全、両下肢不完全</td><td></td></tr>
<tr><td>5</td><td>［片下腿・片大腿切断］
両大腿切断、両下肢完全</td><td></td></tr>
<tr><td>体幹</td><td>6</td><td>体幹</td><td>▲</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">脳原性麻痺以外で
車いす常用・使用</td><td>7</td><td>第８頚髄まで残存</td><td rowspan="3">▲</td><td></td></tr>
<tr><td>8</td><td>座位バランスなし</td><td></td></tr>
<tr><td>9</td><td>その他の車いす</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">3</td><td rowspan="5">脳原性麻痺</td><td>10</td><td>車いす移動</td><td rowspan="5">▲</td><td></td></tr>
<tr><td>11</td><td>杖・松葉杖使用</td><td></td></tr>
<tr><td>12</td><td>上肢に不随意運動あり</td><td></td></tr>
<tr><td>13</td><td>上肢に不随意運動なし</td><td></td></tr>
<tr><td>14</td><td>片側障がい</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">視覚障がい</td><td>15</td><td>アイマスク有り</td><td></td><td>▲</td></tr>
<tr><td>16</td><td>アイマスク無し</td><td>▲</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">聴覚・平衡機能障がい、音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい</td><td>17</td><td>聴覚障がい</td><td>▲</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">知的障がい</td><td>18</td><td>知的障がい</td><td>◎</td><td></td><td>▲</td></tr>
<tr><td colspan="3">精神障がい</td><td>19</td><td>精神障がい</td><td>◎</td><td></td><td>▲</td></tr>
</table>

※区分15は団体競技に出場できない。

※視覚障がいは視力・視野の程度に関わらず、アイマスクの有無で出場競技を分ける。区分15は主催者が準備したアイマスクを装着する。

※■ は全国障害者スポーツ大会種目には含まれない。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「アーチェリー」競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

出雲市

４．主　管（予定）

島根県アーチェリー連盟

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　出雲市教育委員会　出雲市体育協会　社会福祉法人出雲市社会福祉協議会　出雲市身障者福祉協会　出雲市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター、島根県障がい者スポーツ指導者協議会、ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年５月２２日（土）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限

２０２１年４月２６日（月）

９．会　場

サン・アビリティーズいずも

所在地：出雲市今市町北本町３－１－２０　　電話：０８５３－２４－２０４０

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――――― 本件に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電　話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）「アーチェリー」競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び「全日本アーチェリー連盟競技規則」並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

（１）個人戦

以下のいずれか１種目に出場できる。

①リ カ ー ブ 部 門…障がい区分別、男女別とする。

②コンパウンド部門…障がい区分は設けず、男女別とする。

（２）団体戦

個人競技に出場した選手のうち、上位３名の合計スコアにより決定する。１チーム３名以上５名以内とする。

３．服　　装

（１）運動に適した服装とする。

（２）ゼッケンは主催者側が交付するものを使用し、競技者のクィーバーに付ける。

４．練習時間

競技開始前にフリープラクティスを設ける。

５．用　　具

（１）弓具は選手が用意する。

（２）矢には必ずネームを記入する（イニシャルでもよい）。

６．弓具検査

開会式終了時間から競技開始時間までに会場で行う。

７．車いす規定

アーチェリーに使用する車いすまたはいすは次のとおりとする。ただし、ここにあげる以外でもシューティングに有利と見なされる事項は禁止する。

（１）車いすは車いすに取り付けられたブレーキ以外の装置で固定してはならない。

（２）車いすの背もたれや支柱は、体幹の半分より前まで覆う形状であってはならない。

（３）障がい区分１の競技者は、競技者が使用できるボディサポートは[図１]に準ずるものとする。また、この区分に関しては、使用するストラップの本数制限がないため、幅の広いストラップも使用することができる。

（４）障がい区分１、２ともに、シューティングに有利ではなく、座位保持を安定させるために腰部分をストラップで支持することができる。

（５）車いすは可能な限り標準仕様であること。[図２]のようなものはシューティングに有利とみなされ禁止される。

８．競技方法

（１）競技種目は、男女ともインドア１８ｍラウンド（６０射）とする。

（２）標的面は直径４０㎝とする。

（３）行射数および行射時間は次のとおりとする。

①行射数は１エンド３射とする。

②行射時間は１エンド２分以内とする。

（４）障がい区分１および３の選手はリカーブ部門において、審判長の承認を得て手に補助具（リリースエイド等の発射装置）を使用することができる。

（５）行射については次のとおりとする。

①車いすあるいはいす使用の競技者は、シューティングライン後方に少なくとも車いすの１輪またはいすの１脚を置いて行射しなければならない。

②行射中は押手並びに弓を車いすやいす等で支えてはならない。

③１競技者について最低８０㎝の間隔を確保する。またいす使用の競技者は、いすの背もたれや肘掛けなどで体を支えてはならない。

④車いすの競技者は、足やフットレストを地面につけてはならない。

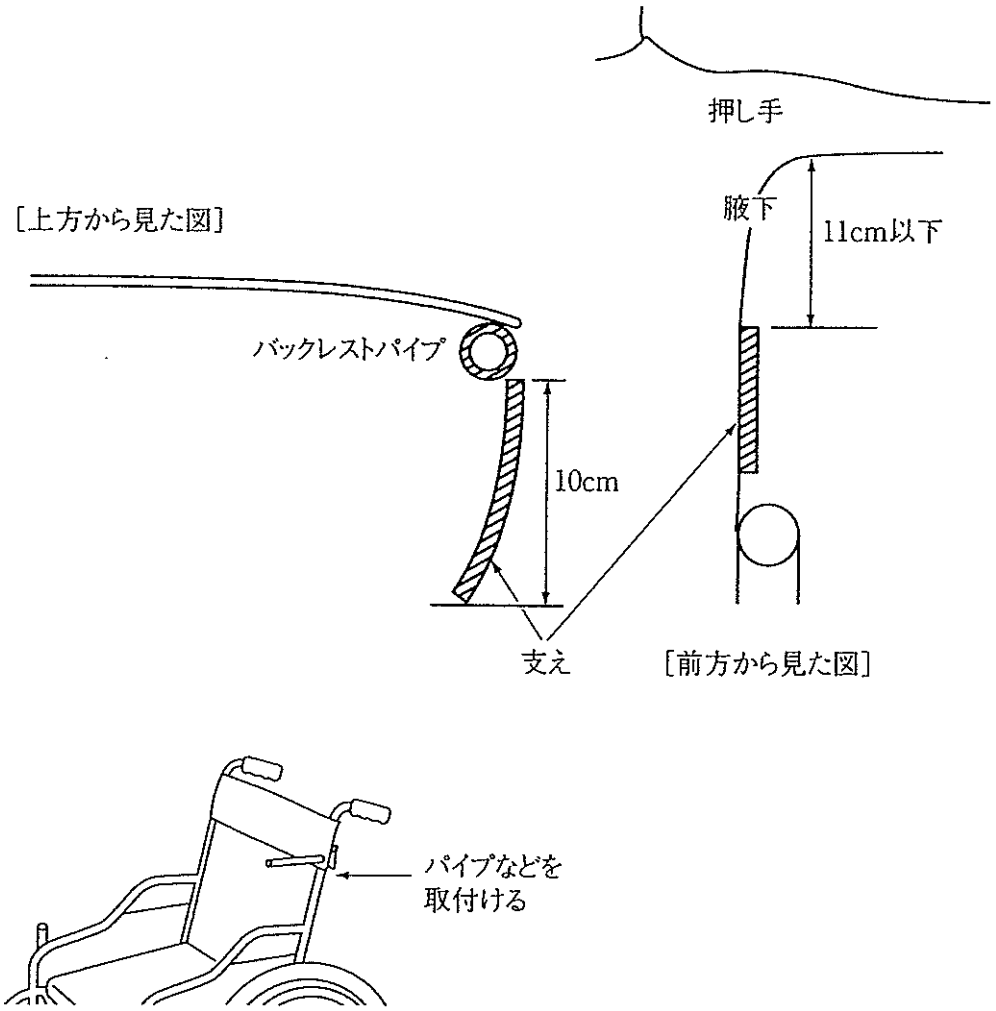
（６）立順について

２名または３名の競技者が同時に行射する場合、車いすまたはいす使用の競技者は、常にシューティングラインにとどまっていてもよい。その場合、弓を膝の上もしくはシューティングライン後方に置くことによって行射を終了したものとする。

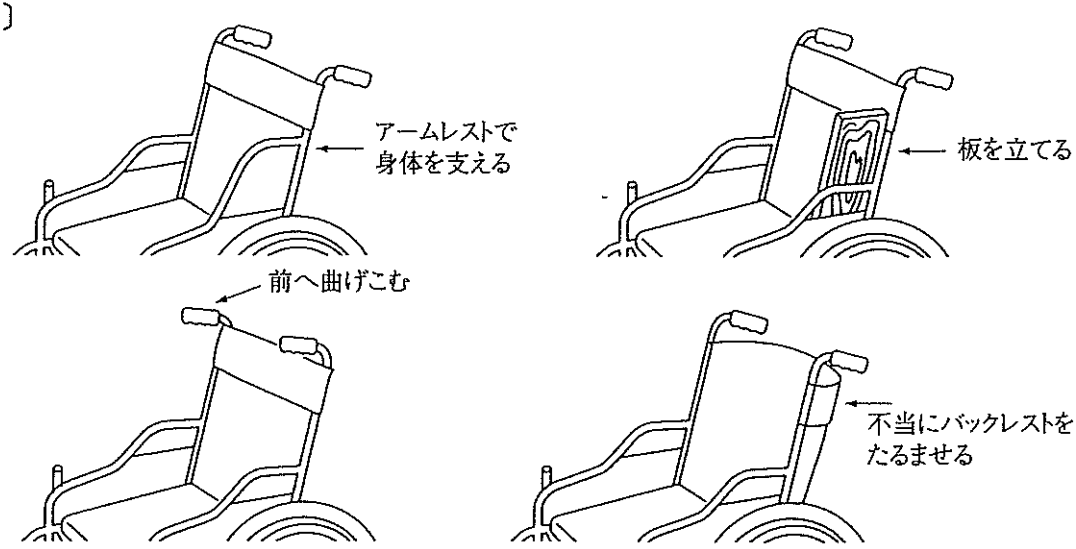
（７）コンパウンド部門に出場する選手が団体競技のメンバーである場合、点数の５％引いた点数を採用することとする。

（８）採点は相互看的とし、困難な場合は代行を認める。

〔図１〕



〔図２〕



『全国障害者スポーツ大会競技規則集 －平成31年４月１日より実施分－』より引用

アーチェリー 障がい区分表

△男女混成可、年齢・障がい区分なし

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th rowspan="2">区分番号</th><th rowspan="2">障がい区分</th><th colspan="2">個人競技</th><th rowspan="2">団体競技</th></tr>
<tr><th>リカーブ部門</th><th>コンパウンド部門</th></tr>
<tr><td rowspan="6">肢体不自由</td><td rowspan="2">脳原性麻痺以外の車いす使用</td><td>1</td><td>第８頚髄まで残存</td><td>●</td><td>●</td><td rowspan="10">△</td></tr>
<tr><td>2</td><td>その他の車いす</td><td>●</td><td rowspan="9">●</td></tr>
<tr><td rowspan="3">切断・機能障がい</td><td>3</td><td>上肢障がい</td><td>●</td></tr>
<tr><td>4</td><td>下肢障がい（いす・車いす使用を含む）</td><td>●</td></tr>
<tr><td>5</td><td>体幹</td><td>●</td></tr>
<tr><td>脳原性麻痺</td><td>6</td><td>脳原性麻痺</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">聴覚・平衡機能障がい、
音声・言語・そしゃく機能障がい</td><td>7</td><td>聴覚障がい</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">内部障がい</td><td>8</td><td>ぼうこう又は直腸機能障がい</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">知的障がい</td><td>9</td><td>知的障がい</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">精神障がい</td><td>10</td><td>精神障がい</td><td>●</td></tr>
</table>

※区分1には、「第6頚髄まで残存」及び「第7頚髄まで残存」は出場できるものとする。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会ボッチャ競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

松江市

４．主　管（予定　順不同）

島根県障がい者スポーツ指導者協議会

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　松江市教育委員会　松江市体育協会　社会福祉法人松江市社会福祉協議会　松江市身体障害者福祉協会　松江市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年６月６日（日）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限日

２０２１年５月１０日（月）

９．会　場

松江市総合体育館

所在地：松江市学園南１－２１－１　　電話：０８５２－２５－１７００

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――― 本県に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「ボッチャ」競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

（１）「立位の部」と「座位の部」に分ける。ただし、障がい、男女、年齢の区分を問わない。

（２）この大会は、下記の「ボッチャ障がい区分表」にある者を参加対象とする。なお、知的障がい・精神障がい者等を対象とした交流会を開催予定。

ボッチャ障がい区分表

◎男女区別・年齢区分なし

			区分番号	障害区分	競技スタイル	
					立位	座位
肢体不自由	Ⅰ	切断・機能障害	1	多肢切断・両下肢完全で立位	◎	
	Ⅱ	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	2	第６頚髄まで残存		◎
			3	第７頚髄まで残存		◎
			4	第８頚髄まで残存		◎
			5	多肢切断		◎
	Ⅲ	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	6	四肢麻痺で車いす常用		◎
			7	けって移動		◎
			8	片上下肢で車いす常用、または使用		◎
			9	その他走不能	◎	
	Ⅳ		１０	電動車いす常用		◎

※１．座位で競技する選手（区分２～８及び１０）の選手で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手１名につき１名の競技アシスタントを認める。

※２．競技スタイルは、コート内で実際に投球する際の状態を指す。

※３．座位とは、車いす及び椅子に座った状態を指す。また、立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

３．服　　装

運動に適した服装とする。

４．招　　集

（１）招集は競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので競技役員の指示に従う。

（２）招集完了時間は、試合開始の１０分前とする。

５．入 退 場

競技場への入退場は、競技役員の誘導により行う。

６．練　　習

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまではウォームアップコート内での練習を許可する。ウォームアップコートの場所は当日指示する。

７．競技方法

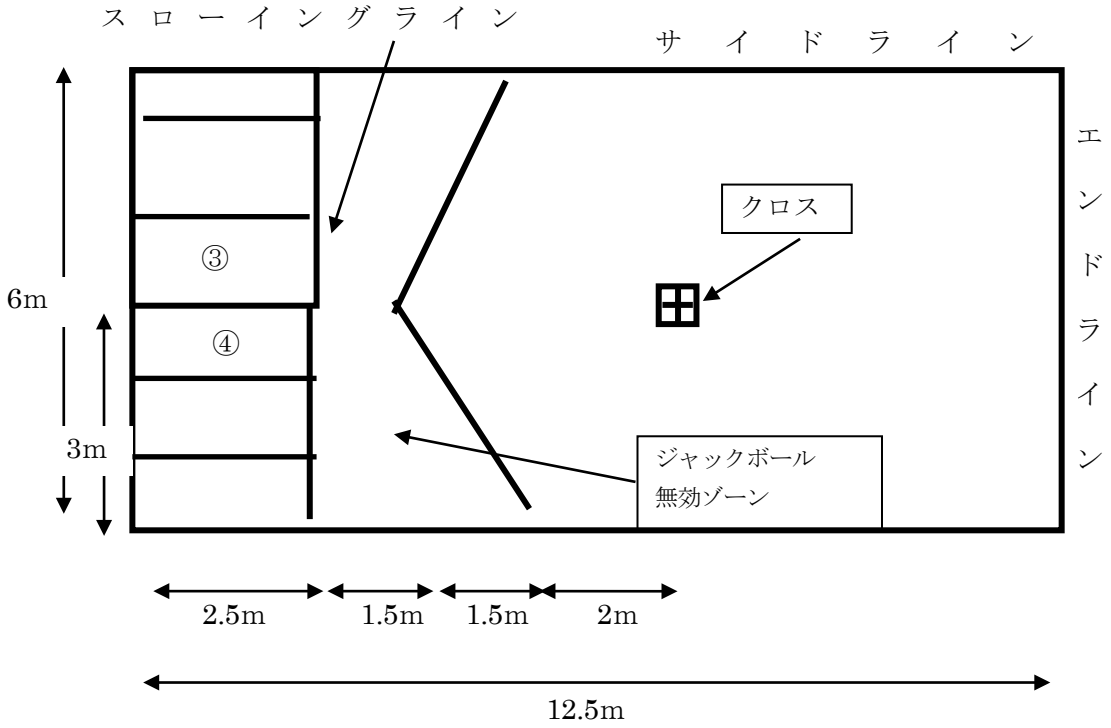
（１）すべての試合は１対１の個人戦とする。立位の部と座位の部に分かれて試合を行う。

（２）立位の部と座位の部に分かれ、トーナメント方式により順位を決定する。なお、参加選手の人数によっては競技方法を変更する場合がある。

（３）コートは下記のとおりとする

１２．５ｍ×６ｍのコートで行う。

選手は③と④のスローイングボックス内でプレイする。



（４）用具

①ボールは合成皮革製で周長直径２７０±８mm、重さは２７５±１２ｇとし、主催者側で用意する。

②ジャックボール１球と赤・青のカラーボールそれぞれ６球の１３球使用する。

③ランプのサイズは支柱を含め最大にした状態でスローイングボックスに収まる範囲の大きさでなければならない。ランプ自体にボールを射出するような装置を取り付けたり、照準器を取り付けてはならない。

④ボール及びランプを選手が準備し、使用したいとの申し出があった場合は、上記①～③に合致するものであれば使用して構わない。

（５）競技の流れ

①先攻・後攻をコイントスで決める。

②選手は審判の誘導に従い、投球位置（先攻である赤ボールを投球するサイドは③、後攻である青ボールを投球するサイドは④）に入る。なお、コート内には選手及びアシスタントのみが入ることができる。

③先攻（赤ボール）がジャックボールを投げ、続けて第１球をジャックボールに近づけるように投げる。

④後攻（青ボール）の第１球をジャックボールに近づけるように投げる。

⑤以降はジャックボールに遠い方が審判の指示板に従って順番に投球する。

⑥ジャックボールから遠い方の手持ちボールがなくなったら、ジャックボールに近い方の手持ちボールがなくなるまで投げる。

⑦投球したボールが外に出た場合は、アウトボール（エンドが終了するまで除外）となる。

⑧ジャックボールが当てられて外に出た場合はクロスに戻される。

⑨両選手のすべての手持ちボールを投球し終わったら得点を数え、１エンドが終了となる。

⑩１エンドの得点の付け方

ａ．ジャックボールの一番近くにボールがある方が勝ちとなる。

ｂ．ジャックボールの一番近くにある、負けた方のボールまでの距離を半径として円を描く。その中に勝った方のボールが何個入っているかを数えて、その数を得点とする。

ｃ．赤・青共に同じ距離にあればそのボールの数を両選手の得点とする。

⑪２エンド目は、ジャックボールを後攻側に渡し、同じ手順で競技を行う。

⑫試合は２エンド行い、その合計得点により勝敗を決定する。得点合計が同点の場合はタイブレイクを行う。じゃんけんかコイントスで先攻後攻を決め、ジャックボールをクロスに置いて１球ずつ投げ、ジャックボールにより近い方を勝ちとする。（ファイナルショット制度）

（６）ペナルティ

以下の行為については、投球したボールは無効となり、リトラクション（ボール除去）となる。ただし、審判または副審は、対象となる行為に気が付いた場合は出来る限り指導を行い、ペナルティの回避に努める。

①ラインを踏む、もしくはボックスの外に足や補装具が接触した状態で投球する。

②審判の指示がある前に投球する。

③ランプを使用する選手のアシスタントが、試合中にコートを見たり、競技に介入したりする所作を審判が認めた時。

（７）競技時間

①ジャックボールを含めた各選手の投球時間はそれぞれ６分とする。

②タイブレイクでは、各選手の投球時間はそれぞれ１分とする。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「ソフトバレーボール」競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

江津市

４．主　管（予定　順不同）

島根県バレーボール協会　島根県ソフトバレーボール連盟　江津市ソフトバレーボール連盟

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　江津市教育委員会　江津市体育協会　社会福祉法人江津市社会福祉協議会　江津市障がい者協会　江津市障害者スポーツ協会　江津市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年９月４日（土）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限日

２０２１年８月１０日（火）

９．会　場

江津市民体育館

所在地：江津市嘉久志町２０５２　　電話：０８５５－５２－１７９０

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――― 本件に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電　話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）「ソフトバレーボール」競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び（公財）日本バレーボール協会制定競技規則、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

身体障がい、知的障がい、精神障がいの３区分に分ける。１つのチームに異なる障がい区分の選手がいる場合はオープン参加（記録は公式記録とならず、順位をつけない）とする。

３．服　　装

チームユニフォーム（背番号入り）を着用する。チームユニフォームがない場合は運動に適した服装を着用し、主催者の指定したビブスを着用する。

４．練習時間

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまでは練習を許可する。

５．招　　集

招集は競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので競技役員の指示に従う。

６．チーム編成

１チームの構成は男女混成とし、６名以上１２名以内とする。

７．競技方法

（１）コートの大きさは１８ｍ×９ｍとする。

（２）ネットの高さは２ｍ２４㎝とする。

（３）使用するボールは、日本バレーボール協会制定ソフトバレーボール球・糸巻き（モルテン製円周７８±１㎝、重量２１０±１０ｇ）を用いるものとする。

（４）試合は３セットマッチ（すべてのセットデュースなし）とし、２セットを先取したチームを勝ちとする。１、２セット目は２５点、３セット目は１５点で終了するが、参加チーム数によってはこの限りではない。

（５）試合は６名で行い、女性選手が常時１名以上出場していなければならない。

（６）サービス後の攻守のポジションはフリーとする。ただし、サーバーによってボールが打たれる瞬間は、それぞれのチームは、各自のコート内でローテーション・オーダーに従って、位置しなければならない（サーバーは除く）。

（７）ネットインサーブ有りとする。

（８）１セットにつき、最大２回のタイムアウト（１回３０秒）と、６回の競技者の交代が認められる。

（９）手のひらを上に広げてのアンダーハンドパスは認めることとする。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「グラウンド・ゴルフ」競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

出雲市

４．主　管（予定　順不同）

島根県グラウンド・ゴルフ協会　出雲支部グラウンド・ゴルフ協会

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　出雲市教育委員会　出雲市体育協会　社会福祉法人出雲市社会福祉協議会　出雲市身障者福祉協会　出雲市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年１１月１３日（土）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限日

２０２１年１０月４日（月）

９．会　場

出雲ドーム

所在地：出雲市矢野町９９９　　電話：０８５３－２５－１００６

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――― 本県に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）グラウンド・ゴルフ競技会 実施要項

１．競技規則

（公財）日本グラウンド・ゴルフ協会制定のルール、及び本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

障がい、男女、年齢の区分を問わない。

３．服　　装

運動に適した服装とする。

４．練　　習

大会当日の競技場内での練習は不可とする。

５．招　　集

（１）招集は競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので競技役員の指示に従う。

（２）招集完了時間は試合開始の１０分前とする。

６．競技方法

（１）チーム編成

１チームの編成は、６名以上９名以内とする。

（２）エチケット

①プレーヤーは、自分のプレーが終わったら、すみやかに次のプレーヤーの妨げにならない場所に行く。

②プレーヤーが打つ前後は、話したり、ボールやポストの近くあるいはボールやポストの直後に立ったりしてはならない。また、自分たちの前を行く組が終わらなくては、ボールを打ってはならない。

③プレーヤーは、自分の作った穴や足跡を全部なおしていかなければならない。

（３）ゲーム

①ゲームは、ボールを決められた打順に従ってスタート位置から打ち始め、ホールポストに入れるまでの（ストローク）総打数を競う団体競技とする。選手全員がプレーし、そのうち上位６名のスコアを合計し、少ないチームから１位・２位・３位とする。打数が同じ場合は、最少打数の多いチームが上位となる。

②個人競技は、前・後半に出場した者の中から１・２・３位を表彰する。

（４）用具

①クラブ、ボール、ホールポストは、グラウンド・ゴルフ用を使用すること。

②クラブ及びボールは、参加チームで用意する。

（５）競技中の練習

プレー中のプレーヤーはいかなる打球練習も行ってはならない（本条の反則は１打付加する）。

（６）援助

プレーヤーは打つとき物理的援助、あるいは風雨の防護を求めたり受けたりしてはならない（本条の反則は１打付加する）。

（７）ボールはあるがままの状態で競技する

ボールが長い草、または木の茂みなどの中にあるときは、ボールの所在と自己のボールであることを確かめる限度においてのみ、これらのものに触れることができ、草を刈ったり、木の枝を折ったりしてはいけない（本条の反則は１打付加する）。

（８）ボールの打ち方

①プレーヤーが１打でボールを２回打ったときは、２打と数える。ただし、空振りの場合は打数に数えない。

②プレーヤーは打つときに木などで足場を作ってはいけない（本条の反則は１打付加する）。

（９）紛失ボールとアウトボール

ボールが紛失したり、コース外（溝などに落ちた場合）に出た場合、プレーヤーは１打付加し、出た位置からクラブの長さの範囲内でホールに近寄らないで、打球可能な箇所にボールを置いて次の打を行わなければならない。

(10) プレーの妨げになるボール

プレーの妨げになるボールは、一時的に取り除くことを要求することができる。その際、ホールに対してボールの後方にマークし取り除かなければならない（マーカーは各自で用意する）。

(11) 同伴プレーヤーのボールに当たった場合

プレーヤーのボールが同伴者のボールに当たったときは、ボールの止まったところからプレーを続け、同伴プレーヤーのボールは元の位置にかえす。

(12) 止まったボールが風によって動いた場合

風によってボールが動いたら、動いて静止した場所からプレーする。なお、ホールポストに入った場合は「トマリ」とする。

(13) 第１打がホールポストに入った場合（ホールインワン）

１打目で「トマリ」となったときは、そのプレーヤーの合計打数から３打引いて計算する。

(14) プレーヤーの交代

プレーヤーの交代は、ホール終了後に行うこととする。ただし、プレーヤーにやむを得ない事故等があった場合は、交代を認める。なお、同一プレーヤーの交代は２回までとする。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「ソフトボール」競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

出雲市

４．主　管（予定　順不同）

島根県ソフトボール協会　出雲市ソフトボール協会

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　出雲市教育委員会　出雲市体育協会　社会福祉法人出雲市社会福祉協議会　出雲市身障者福祉協会　出雲市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年１１月１３日（土）

受　　付：　9時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限日

２０２１年１０月4日（月）

９．会　場

出雲健康公園少年野球場

所在地：出雲市矢野町９９９　　電話：０８５３－２５－１００６

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――― 本県に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）ソフトボール競技会 実施要項

１．競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び同年度の（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボールルール、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

２．参加区分

身体障がい、知的障がい、精神障がいの３区分に分ける。１つのチームに異なる障がい区分の選手がいる場合はオープン参加とする。

３．服装

チームユニフォーム（背番号入り）を着用する。チームユニフォームがない場合は運動に適した服装を着用し、主催者の指定したビブスを着用する。

４．練習時間

各チームが行う最初の試合の前に、それぞれ５分間の練習時間を設ける。

５．招集

上記練習時間後、試合開始５分前を招集完了時間とする。試合を行うチームはベンチ内で待機する。

６．チーム編成

１チームの構成は１５名以内とし、男女を問わない。

７．競技方法

（１）ファーストピッチにより行う。

（２）競技場のフェア地域および塁間距離と投球距離は女子の規格に準じる。
投球距離…１３．１１ｍ　塁間…１８．２９ｍ　ホームランライン…６０．９６ｍ

（３）ダブルベースを使用する。

（４）試合球は３号ボールとし、主催者が用意する。

（５）金属製スパイクは禁止する。

（６）打者はヘルメット、捕手はスロートガード付きマスク、ヘルメット、ボディープロテクター及びレガースの着用を義務づける。

（７）試合は５イニングで行う。試合開始５０分を経過後は新しいイニングには入らないこととする。

（８）同点の場合は、タイブレーカーにより試合を延長して行う。ただし、延長は２回を限度とし、それでも同点の場合は、最終出場選手９名のジャンケンによって勝敗を決める。

（９）３回終了後、１０点以上の得点差が生じた場合は、コールドゲームとする。

（10）ゴロ及びバウンドでホームランラインを越えた場合は、エンタイトルツーベースとする。

（11）飛球をダイレクトで捕球された場合、走者はタッチアップすることができる。

(12) パスボール、振り逃げは適用しない。

(13) 走者３塁の場合は、バントできない。

(14) 盗塁が行われた時、該当する走者はアウトとする。

・ピッチャーが投球したボールがホームベースを通過した時点でボールデッドとし、盗塁、キャッチャーからの牽制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。

・ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は、審判団の判断で遅延行為により走者をアウトとする。

(15) 不正投球が行われたときは、審判により注意（指導）を行う。２度目以降は不正投球として処理する。

(16) 参加チームが多い場合、あるいは競技の進行状況等から、協議により競技方法を変更することもある。

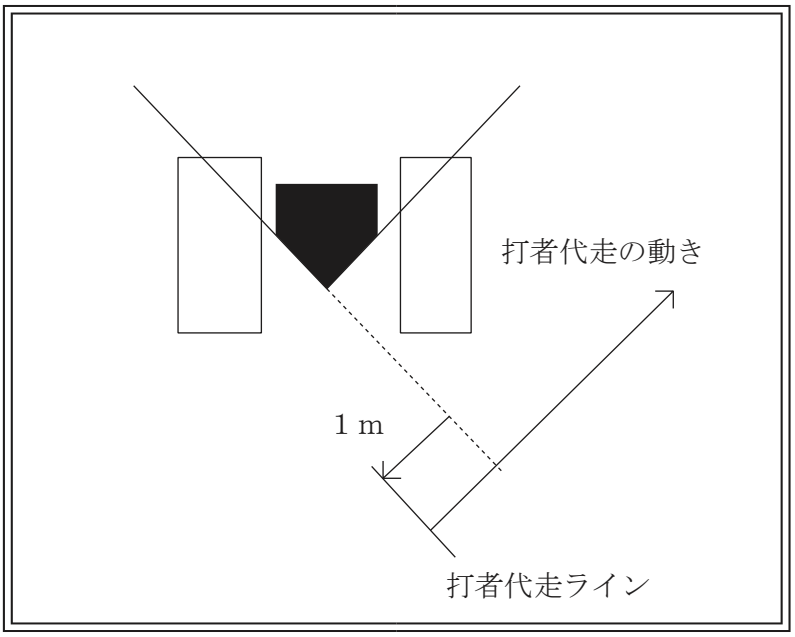
(17) 指名選手（ＤＰ制)、再出場（リエントリー制）を採用する。

(18) 打者代走

①下肢障がい者で走塁が困難と認められる選手の打席には打者代走を認める。

②代走者のスタートラインは、３塁と本塁を結ぶファールライン線の延長線からバックネット方向へ１ｍ後退した地点とする。

③代走者の資格は、大会登録選手とするが、塁上で自打順を迎えぬよう配慮すること。それ以外の塁上走者交代は、通常の選手交代とする。



８．その他

競技に関する打ち合わせは、第１試合開始前に、全てのチームの監督（コーチ）を招集して行う。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会バドミントン競技会 開催要項

１．目　的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

２．主　催

島根県　公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

３．共　催（予定）

出雲市

４．主　管（予定　順不同）

島根県バドミントン協会　出雲市バドミントン連盟

５．後　援（予定　順不同）

公益財団法人島根県体育協会　社会福祉法人島根県社会福祉協議会　島根県身体障害者団体連合会　島根県知的障害者福祉協会　島根県手をつなぐ育成会　一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会　島根県精神保健福祉士会　一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部　島根県特別支援学校長会　出雲市教育委員会　出雲市体育協会　社会福祉法人出雲市社会福祉協議会　出雲市身体障害者福祉協会　出雲市手をつなぐ育成会

６．協　力（予定　順不同）

島根県聴覚障害者情報センター　島根県障がい者スポーツ指導者協議会　ボランティアの皆さま

７．期　日

２０２１年１１月２７日（土）

受　　付：　９時３０分から１０時００分

競技開始：１０時００分から

８．申し込み期限日

２０２１年１０月２９日（金）

９．会　場

浜山体育館

所在地：出雲市大社町北荒木１８６８－１０　電話：０８５３－５３－４５３３

10．その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

―――――――――――――― 本県に関する送付先・問い合わせ先 ――――――――――――――

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内　島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１　松江市東津田町１７４１番地３　いきいきプラザ島根５階
電話：０８５２－２０－７７７０　　ファックス：０８５２－３２－５９８２
メール： info_office@spokyo.org

第２２回（２０２１年度）バドミントン競技会 実施要項

１．競技規則

本年度の（公財）日本バドミントン協会制定の競技規則及び（一社）日本障がい者バドミントン連盟制定のルール、並びに本大会申し合わせ事項に基づいて行う。

２．参加区分

（１）個人戦

①身体障がい者は、男女・年齢の区分を設けない。

②知的障がい者は、男女別、年齢区分別とする。

③精神障がい者は、男女別、年齢区分別とする。

（２）団体戦

身体障がい、知的障がい、精神障がいの３区分別とする。

３．服　　装

（１）運動に適した服装とする。

（２）ゼッケンは主催者側が交付するものを使用し、競技用服装の背部につける。

４．招　　集

（１）招集は競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので係員の指示に従う。

（２）招集完了時間は、試合開始の１０分前とする。

５．入 退 場

競技場への入退場は、競技役員の誘導により行う。

６．練習時間

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまではコート内での練習を許可する。

７．競技方法

【全区分共通】

（１）競技進行は、プログラムのとおりとする。

（２）個人競技終了後、団体競技を行う。

（３）団体戦は試合ごとにオーダー用紙を提出する。

（４）個人・団体戦ともトーナメントとし、３位決定戦は行わない。なお参加人数、チーム数によってはリーグ戦に変更することもある。

（５）リーグ戦において勝敗が同率となった場合は、得失セット、得失点、ジャンケンの順で順位を決定する。

（６）サービス権とコート権はジャンケンで決める。第３セットの８点目が先取された時点でコートチェンジを行う。

（７）ダブルスのサービスは、サーバーの得点が０点もしくは偶数のときは右側のサービスコートから行う。サーバーの得点が奇数のときは、左側のサービスコートから行う。

（８）フォルト（失敗）について

①サービス時に、シャトルが違ったサービスコートに落ちた場合、ショートサービスラインに達しない場合、バックバウンダリーラインを越えた場合、サイドラインの外に落ちた場合。

②サービス時に、サーバーの両足が定められているサービスコート内にない場合、もしくはレシーブするプレイヤーの両足がサービスされるまで対角線上のサービスコート内にない場合。

③二段打ちした場合。

④プレイ中、プレイヤーのラケット、身体、着衣がネットやそれを支えるものに触れた場合。ただし原則として相手方に極度に不利にならない場合は、フォルトとしない。

⑤サービスしようとしてラケットに触れずにシャトルが床に落ちた場合はワンモアとする。

（９）１セット１５点のラリーポイント制とし、すべてのセットデュースなしとする。

【身体障がいの部】

（１）<u>個人戦</u>

①シングルスで行う

②コート半面を使用する。

（２）<u>団体戦</u>

①ダブルスで行う。

②コート全面を使用する。

③１チーム２名とし、１名の補欠を置く事ができる。

④試合ごとにオーダー用紙を提出する。

（３）個人・団体戦とも３ゲームズマッチの２ゲーム先取により勝敗を決める。

（４）サービス・ラリー時ともに、ネットとネットに近いサービスラインの間に落ちたシャトルはアウトとする。

（５）シャトルは水鳥シャトルを使用する。

【知的・精神障がいの部】

（１）個人・団体戦ともに試合はシングルスとする。

（２）個人・団体戦とも３ゲームズマッチの２ゲーム先取により勝敗を決める。ただし、団体戦は勝敗が決しても３試合は必ず行う。また、１チーム３名の人数を満たさない場合、試合は行うが、オープン参加（記録は公式記録とならず、順位をつけない）とする。

（３）団体戦は１チーム３名とし、１名の補欠を置くことができる。

（４）シャトルは、ナイロンシャトル（メイビス３５０号）を使用する。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会

申し込み書類

○必要な場合は、コピーしてください。

○書類は、本会ホームページよりダウンロードできます。

様式①

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 参加申し込み書（全競技共通）

競技名					
チーム名					
参加選手	障がい区分		男　子	女　子	合　計
	身体	肢体	名	名	名
		視覚	名	名	名
		聴覚	名	名	名
		内部	名	名	名
	知的	小学生（9～12歳）	名	名	名
		少年（13～19歳）※中学１年生も含む	名	名	名
		青年（20～35歳）	名	名	名
		壮年（36歳以上）	名	名	名
	精神	４０歳未満	名	名	名
		４０歳以上	名	名	名
	合　計		名	名	名
介助者（引率者）氏名	全員の氏名を記入してください。 計　　名				
参加費・弁当代（お振込み金額）	A	参加選手人数（　　）名 × 参加費２００円 ＝			
	B	弁当注文数（　　）個 × 弁当代６００円 ＝			
	C	Ａ ＋ Ｂ ＝　　円 ※			
	申し込み締切後、参加決定通知書とともに郵便局の「払込取扱票」（手数料無料）をお送りしますので、**※上枠Cの金額を期日までにお振込みください**。基本的に領収書は発行いたしませんが、ご入り用の場合はご連絡ください。				
参加交通手段	大型バス（　　）台　マイクロバス（　　）台　自動車（　　）台				
	鉄道　・　バス　・　その他（　　）				
出発・到着予定時間	時　　分　出発予定		時　　分　到着予定		
送付物の宛先	※下枠の所在地と同じ場合は記入不要				

2021年　　月　　日

上記のとおり参加申し込みします。

団体名

〒□□□－□□□□

所在地

電話番号　　－　　－

ﾌｧｯｸｽ番号　　－　　－

連絡担当者名

緊急連絡先（中止の場合等）　自宅 ・ 勤務先 ・ 携帯 ・ ﾌｧｯｸｽ

様式②－１

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「水泳」競技会　参加申し込み書

| チーム名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 申し込み責任者氏名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

様式②－２

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「ボウリング」競技会　参加申し込み書

チーム名										申し込み責任者氏名				申し込みにあたっての同意 ※様式下部を参照し✓を記入
No.	ふりがな 氏名	性別	年齢	個人競技					団体競技	手話 要・不要	要約筆記 要・不要	車椅子 有・無	備考	
				障がい区分			部門							
				身体	知的	精神	一般	ノーガター						
1										要・不要	要・不要	有・無		
2										要・不要	要・不要	有・無		
3										要・不要	要・不要	有・無		
4										要・不要	要・不要	有・無		
5										要・不要	要・不要	有・無		
6										要・不要	要・不要	有・無		
7										要・不要	要・不要	有・無		
8										要・不要	要・不要	有・無		

※１．年齢の欄は、その年の４月１日現在の満年齢を記入する。
※２．障がい区分は、該当する障がいに〇印を記入する。
※３．部門は、「一般」「ノーガター」のいずれかに〇印を記入する。
※４．団体競技出場者は、チーム毎にＡ・Ｂ・Ｃ等区別して記入する。４名１チームとする。※ノーガター部門は団体競技参加不可

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
　大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

様式②－３

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「陸上」競技会　参加申込名簿

チーム名										申し込み責任者氏名						申し込みにあたっての同意 ※様式下部を参照し✓を記入
No.	ふりがな 氏名	性別	年齢	障がい区分番号	障がい区分 身体 種別等級	障がい区分 身体 障がい名	障がい区分 知的	障がい区分 精神	個人競技 種目	団体競技 リレー	車椅子の有無	手話 要・不要	要約筆記 要・不要	※タイム申告出場者のみ記入	
1									1種目目		有・無	要・不要	要・不要	′　″	
									2種目目						
2									1種目目		有・無	要・不要	要・不要	′　″	
									2種目目						
3									1種目目		有・無	要・不要	要・不要	′　″	
									2種目目						
4									1種目目		有・無	要・不要	要・不要	′　″	
									2種目目						
5									1種目目		有・無	要・不要	要・不要	′　″	
									2種目目						
6									1種目目		有・無	要・不要	要・不要	′　″	
									2種目目						
7									1種目目		有・無	要・不要	要・不要	′　″	
									2種目目						
8									1種目目		有・無	要・不要	要・不要	′　″	
									2種目目						
備考															

※１．年齢の欄は、その年の４月１日現在の満年齢を記入する。

※２．障がい区分番号は、「陸上競技種目 障がい区分表」を参照し、記入する。

※３．障がい区分は、身体障がいの場合は障害者手帳にある等級と障がい名を記入し、知的・精神障がいの場合は該当する障がいに○印を記入する。

※４．リレーに出場するチームは、チーム毎にＡ・Ｂ・Ｃ等区別して記入する。リレー競技は男女混成とし、補欠は２名までとする。

※５．走幅跳に出場する選手は、踏切板の位置を次から選び備考欄に記入する。　（　１ｍ　・　２ｍ　）

様式②－４

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「 フライングディスク」競技会　参加申し込み書

チーム名											申し込み責任者氏名			申し込みにあたっての同意 ※様式下部を参照し✓を記入
No.	ふりがな 氏名	性別	年齢	障がい区分 身体	障がい区分 知的	障がい区分 精神	個人競技 アキュラシー 5m or 7m	個人競技 ディスタンス 立位 or 座位	団体競技	左投げ、音源、いす、車いす	手話 要・不要	要約筆記 要・不要	備考	
1							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
2							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
3							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
4							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
5							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
6							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
7							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
6							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
7							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		
8							5m ・ 7m	立位 ・ 座位		左投げ、音源、いす、車いす	要・不要	要・不要		

※１．年齢の欄は、毎年４月１日現在の満年齢を記入する。

※２．障がい区分の欄は、○印を記入する。

※３．個人競技の欄は、アキュラシーかディスタンスのどちらかを選び、アキュラシーは5mか7mを、ディスタンスは立位か座位を、それぞれ選び、○印を記入する。

※４．団体競技にエントリーする場合は、チーム毎にＡ・Ｂ・Ｃ等区別して記入する。３名以上１チームとする。

※５．左投げの選手及び、競技の際に使用する補助具等がある場合は○印を付ける。

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
　大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

様式②－５

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「卓球」競技会　参加申し込み書

チーム名													申し込み責任者氏名					申し込みにあたっての同意 ※様式下部を参照し✓を記入
No.	ふりがな 氏名	性別	年齢	障がい区分番号	障がい区分 身体 種別等級	障がい区分 身体 障がい名	障がい区分 知的	障がい区分 精神	個人競技 障がい別	個人競技 全障がい	個人競技 STT	団体競技	車椅子 有・無	手話 要・不要	要約筆記 要・不要	備考	
1													有・無	要・不要	要・不要		
2													有・無	要・不要	要・不要		
3													有・無	要・不要	要・不要		
4													有・無	要・不要	要・不要		
5													有・無	要・不要	要・不要		
6													有・無	要・不要	要・不要		
7													有・無	要・不要	要・不要		
8													有・無	要・不要	要・不要		

※１．年齢は、その年の４月１日現在の満年齢を記入する。

※２．障がい区分番号は、「卓球競技種目 障がい区分表」を参照し、記入する。

※３．障がい区分は、身体障がいは障害者手帳にある等級と障がい名を記入し、知的・精神障がいは該当する障がいに○印を記入する。

※４．個人競技出場者は、出場種目を１つ選択し、○印を記入する。

※５．団体競技出場者は、チーム毎にＡ・Ｂ・Ｃ等区別して記入する。１チームの人数は、３名とし１名の補欠を置くことができる。

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
　大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

様式②－６

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「アーチェリー」競技会 参加申込名簿

チーム名									申し込み責任者氏名								申し込みにあたっての同意 ※様式下部を参照し✓を記入
No.	ふりがな 氏名	性別	年齢	障がい区分番号	障がい区分 身体 種別等級	障がい区分 身体 身体障害者手帳記載の障がい名	障がい区分 知的	障がい区分 精神	部門 リカーブ	部門 コンパウンド	団体競技	手話 要・不要	要約筆記 要・不要	車椅子 有・無	備考	
1												要・不要	要・不要	有・無		
2												要・不要	要・不要	有・無		
3												要・不要	要・不要	有・無		
4												要・不要	要・不要	有・無		
5												要・不要	要・不要	有・無		
6												要・不要	要・不要	有・無		
7												要・不要	要・不要	有・無		
8												要・不要	要・不要	有・無		

※１．年齢の欄は、その年の４月１日現在の満年齢を記入する。

※２．障がい区分番号は、「アーチェリー競技種目 障がい区分表」を参照し、記入する。

※３．障がい区分は、身体障がいは障害者手帳にある障がい名と等級を記入し、知的・精神障がいは該当する障がいに○印を記入する。

※４．団体競技出場者は、チーム毎にＡ・Ｂ・Ｃ等区別して記入する。１チーム３名以上５名以内とする。

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

様式②－７

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「ボッチャ」競技会　参加申し込み書

チーム名		申し込み 責任者氏名												申し込みにあたっての同意 ※様式下部を参照し✓を記入
No.	ふりがな 氏　　名	性別	年齢	障がい区分番号	立位	座位	座位のみ記入 ランプ	座位のみ記入 車椅子	手話	要約筆記	ランプアシスタント	備　考 ※介助内容等ご記入ください。 ※身体障がいの方は、詳しい障がい名を記入ください		
1							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
2							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
3							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
4							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
5							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
6							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
7							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
8							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
9							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			
10							要・不要	手動・電動 自走式・介助式	要・不要	要・不要	有・無			

※１．年齢の欄は、毎年４月１日現在の満年齢を記入する。

※２．障がい区分番号の欄は、障がい区分表の番号を記入する。

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
　大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

様式②－８

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「ソフトバレーボール」競技会　参加申し込み書

チーム名							申し込み 責任者氏名				申し込みにあたっての同意※ 様式下部を参照し✔を記入
監督名				コーチ名					チーム ユニフォーム	有　・　無	
No.	ふりがな 氏　　名	性別	年齢	障がい区分			手話 要・不要	要約筆記 要・不要	備　　考		
				身体	知的	精神					
1							要・不要	要・不要			
2							要・不要	要・不要			
3							要・不要	要・不要			
4							要・不要	要・不要			
5							要・不要	要・不要			
6							要・不要	要・不要			
7							要・不要	要・不要			
8							要・不要	要・不要			
9							要・不要	要・不要			
10							要・不要	要・不要			
11							要・不要	要・不要			
12							要・不要	要・不要			

※１．年齢は、毎年４月１日現在の満年齢を記入する。

※２．障がい区分は、該当する障がいに○印を記入する。

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
　大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

様式②－９

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「グラウンド・ゴルフ」競技会　参加申し込み書

チーム名		申し込み 責任者氏名		貸出用具希望	クラブ　　本．ボール　　個	申し込みにあたっての同意 ※様式下部を参照し✓を記入

No.	ふりがな 氏名	性別	年齢	障がい区分 身体	知的	精神	車椅子 有・無	手話 要・不要	要約筆記 要・不要	備考	
1							有・無	要・不要	要・不要		
2							有・無	要・不要	要・不要		
3							有・無	要・不要	要・不要		
4							有・無	要・不要	要・不要		
5							有・無	要・不要	要・不要		
6							有・無	要・不要	要・不要		
7							有・無	要・不要	要・不要		
8							有・無	要・不要	要・不要		
9							有・無	要・不要	要・不要		

※１．年齢は、その年の４月１日現在の満年齢を記入する。

※２．障がい区分は、該当する障がいに〇印を記入する。

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
　大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

様式②－１０

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「ソフトボール」競技会　参加申し込み書

チーム名							申し込み 責任者氏名					**申し込みにあたっての同意** ※様式下部を参照し✓を記入
監督名				コーチ名					チームユニフォーム		有　・　無	
No.	ふりがな 氏　　名	性別	年齢	障がい区分			車椅子 有・無	手話 要・不要	要約筆記 要・不要	備　　考		
				身体	知的	精神						
1							有・無	要・不要	要・不要			
2							有・無	要・不要	要・不要			
3							有・無	要・不要	要・不要			
4							有・無	要・不要	要・不要			
5							有・無	要・不要	要・不要			
6							有・無	要・不要	要・不要			
7							有・無	要・不要	要・不要			
8							有・無	要・不要	要・不要			
9							有・無	要・不要	要・不要			
10							有・無	要・不要	要・不要			
11							有・無	要・不要	要・不要			
12							有・無	要・不要	要・不要			
参考事項												

※１．年齢の欄は、毎年４月１日現在の満年齢を記入する。

※２．障がい区分は、該当する障がいに○印を記入する。

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
　大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

様式②－１１

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会「バドミントン」競技会 参加申し込み書

チーム名									申し込み 責任者氏名				申し込みにあたっての同意 ※様式下部を参照し✓を記入
No.	ふりがな 氏　　名	性別	年齢	障がい区分			出場競技	団体競技 チーム分け	車いす 有・無	手話 要・不要	要約筆記 要・不要	備　　考	
				身体	知的	精神							
1							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
2							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
3							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
4							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
5							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
6							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
7							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
8							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
9							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		
10							個人・団体		有・無	要・不要	要・不要		

※１．年齢は、その年の４月１日現在の満年齢を記入する。
※２．障がい区分は、該当する障がいに○印を記入する。
※３．団体競技に出場する場合は、チーム毎にＡ・Ｂ・Ｃ等区別して記入する。
　　身体の部…１チーム２名　　知的・精神の部…１チーム３名　　いずれも１名の補欠を置くことができる。

【申し込みにあたっての同意】※詳細は「第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」を確認してください。
　大会当日は、競技会場にテレビ、新聞等報道機関が来場する場合があり、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、協会ホームページや配付プログラムに選手の障がい区分、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめご了承のうえ、名簿右側のチェック欄に✔を記入し、申し込みください。

第２２回（２０２１年度）島根県障がい者スポーツ大会
「選手」「種目」変更届け・欠場届け

《　「選 手」「種 目」　変　更　届　け　》

競 技 名					
チーム名					
No.	種 目 名	ゼッケン番号 ※不明な場合は未記入可	**変　更**　選　手　名	障がい区分	プログラムページ ※不明な場合は未記入可
1			変更前	身・知・精	
			変更**後**	身・知・精	
2			変更前	身・知・精	
			変更**後**	身・知・精	
3			変更前	身・知・精	
			変更**後**	身・知・精	
4			変更前	身・知・精	
			変更**後**	身・知・精	
5			変更前	身・知・精	
			変更**後**	身・知・精	

※１．各競技ごとに記入しください。
※２．選手変更は各競技大会開催日の少なくとも２週間以上前までに、種目変更は３日前までに事務局に提出してください。

《　選　手　欠　場　届　け　》

競 技 名					
チーム名					
No.	種 目 名	ゼッケン番号 ※不明な場合は未記入可	**欠　場**　選　手　名	障がい区分	プログラムページ ※不明な場合は未記入可
1				身・知・精	
2				身・知・精	
3				身・知・精	
4				身・知・精	
5				身・知・精	

※ 各競技ごとに記入しください。

第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会個人競技

選手 申し込み書類

〇必要な場合は、コピーしてください。

〇書類は、本会ホームページよりダウンロードできます。

（「ボッチャ競技」の申し込み用紙は、この要項には定めていません。）

（様式③）

第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会
個人競技参加申し込み書（全競技共通）

ふりがな 氏　名			
性　別	男　・　女	生年月日	大・昭・平　　年　　月　　日生まれ ※２０２１年４月１日現在（　　）歳
住　　所	〒□□□－□□□□		
電話・ファックス	電話番号　　－　　－　　／ファックス番号　　－　　－		
携帯電話			
E-ｍａｉｌ			
勤務先及び 学校・施設名	学年　　年生		
勤務先及び 学校・施設住所	〒□□□－□□□□ 電話番号　　－　　－　　／ファックス番号　　－　　－		
全国大会出場歴	１．　有　・　無　（いずれかに〇をして下さい） ２．出場回数 ＿＿＿＿ 回 ３．出場年度と開催地 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		
推薦・自薦理由	（熱意や意気込み、練習の頻度や様子など、なるべく詳しく書いて下さい。）		

上記の通り申し込みます。　　２０２１年　　月　　日

住　　所　〒□□□－□□□□

電話番号

ファックス番号

推薦団体名

代 表 者 名　　印

様式④－1

第２１回全国障害者スポーツ大会（三重県大会）　個人競技参加申し込み書　【水泳】

フリガナ 氏　名			性別	1 男 2 女	生年月日 年 齢	大正・昭和・平成　年　月　日 満　歳（2021年4月1日現在）	
現住所	〒					TEL	
						FAX	
						メール	
身体障害者手帳	交付手帳　都道府県市（区）　第　号　第　種　級				障がい名(手帳記載のとおりの全文)		
	障がいの原因となっている傷病名等（脳性麻痺、脳出血、二分脊椎など具体的に）						
	視覚に障がいのある方のみ記入	裸　眼	視力	右　左	視野	右　左	不可
	矯正できないときは「不可」に〇	矯正後	視力	右　左	視野	右　左	
療育手帳	有	更新状況(手帳の記載をもとに記入) 判定年月日　年　月　日（次の判定年月日　年　更新不要			無	知的障がいの内容確認が必要な者は、別添で関係書類を提出すること	
障がいの分類	1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　~~4　内部~~　5　知的						
重複障がい	0　なし　1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　4　内部　5　知的　6　精神 7　その他（　）						

障がい区分

主たる障がいの該当する番号1つのみに〇印を付けてください。

肢体不自由	上肢	1	手部切断	肢体不自由	脳原性麻痺	17	四肢麻痺（車いす常用）または、上肢に著しい不随意運動を伴う走不能
		2	片前腕切断または、片上肢不完全				
		3	片上腕切断または、片上肢完全				
		4	両前腕切断または、両上肢不完全			18	両下肢麻痺または上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能
		5	両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断				
	下肢	6	片下腿切断または、片下肢不完全			19	片側障がいで片上肢機能全廃
		7	片大腿切断または、片下肢完全			20	その他の片側障がいで走不能
		8	両下腿切断または、両下肢不完全			21	その他走可能
		9	両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断			22	浮具使用
				視覚障がい		23	視力0から0.01まで
	上下肢	10	片上肢切断および片下肢切断 片上肢不完全および片下肢不完全			24	その他の視覚障がい
		11	多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	聴覚・平衡機能、音声・言語・そしゃく機能障がい		25	聴覚障がい
	体幹	12	体幹				
	脳原性麻痺以外で車いす常用	13	第7頸髄まで残存				
		14	第8頸髄まで残存				
		15	下肢麻痺で座位バランスなし				
		16	下肢麻痺で座位バランスあり	知的障がい		26	知的障がい

出場希望種目

希望する種目･自己記録をご記入ください。

希望順	種目名	自己記録
第1希望		
第2希望		
第3希望		
リレー希望	有（200mリレー ・ 200mメドレーリレー）・ 無	

障がい区分確認事項

<u>障がい区分1～22の方</u>は、該当する箇所に〇印を付け、該当事項をご記入ください。

ア 切　断　（ 部位　）
イ 脊髄損傷　麻痺の程度 （ 完全 ・ 不完全 ）
　頸髄損傷 （ 四肢麻痺 ・ 対麻痺 ）
　頸髄損傷で座位バランス （ あり ・ なし ）
　胸髄損傷で座位バランス （ あり ・ なし ）
ウ 脊髄損傷･脳原性麻痺以外の車いす使用(二分脊椎、骨･関節機能障がい、切断など)の方で、座位バランスが(ある ・ ない)
エ 障がい区分6～11(切断は除く)で、片足または両足で補装具なしで立つことが (可能 ・ 不可能)
オ 脳原性麻痺で、上肢に中等度以上の不随意運動や協調性低下が(ある ・ ない)
カ 脳原性麻痺で、上肢の関節可動域に制限が （ ある ・ ない ）
キ 脳原性麻痺で、走ることが(可能 ・ 不可能)
ク 脳原性麻痺の片側障がいでストロークは(両上肢 ・ 片上肢)で行う
ケ <u>日常生活で使用</u>している補装具(装具･車いす･杖など)が(あり ・ なし)
【<u>ありの場合必ず記入して下さい</u>】
●常用の補装具名
[　]
●常用でないが併用する補装具名
[　]

特記事項

下記の項目の該当する番号等に〇印を付け、必要事項をご記入ください。

1 特になし
2 規則上、スタート介助を認められている者(障がい区分11･13･17･19･22)で、スタート時に
(競技役員（補助員を含む）・ 許可された者)
による介助を希望
3 規則上、入退水時の介助を認められている者(障がい区分11･13･14･15･16･17･19･22)で、入退水時に
(競技役員（補助員を含む）・ 許可された者)
による介助を希望
4 障がい区分23･24の者で、ターンおよびゴール時に
(競技役員（補助員を含む）・ 許可された者)
による合図棒等でのタッピングを希望
5 障がい区分22の者は使用する浮具の種類(　)
6 プールサイドでの移動のために、貸出用車いすの利用を希望
7 聴覚、音声･言語等に障がいのある者で、
(手話通訳 ・ 手書き要約筆記)を希望
8 視覚に障がいのある者で、点字プログラムを希望
9 障がい区分26の者および同等の障がいを重複する者で、情緒不安定または種目の指示等により、競技エリアに同伴者の入場を希望
(その理由)

10 申請対象外の者で、競技エリアに介助者の入場を希望
(その理由)

申し込みにあたって、チェックをお願いします。

参加申込書類が提出された時点で、下記の掲載について同意があったものとして取扱います。

大会当日は、競技会場にテレビ、新聞報道機関が来場することが予想され、選手の氏名･写真･映像が報道されることがあります。また、競技プログラムや普及啓発用のホームページ等に障がい区分(重複障がい含む。)、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめ御了承のうえ、お申込みください。

チェック欄 □

様式④－２

第２１回全国障害者スポーツ大会（三重県大会）　個人競技参加申し込み書　【ボウリング】

フリガナ			性別	1 男	生年月日	大正 ・ 昭和 ・ 平成　年　月　日
氏　名				2 女	年 齢	満　　歳（2021年4月1日現在）
現住所	〒				TEL	
					FAX	
					メール	

身体障害者手帳	交付手帳	都道府県市(区)　第　号　第　種　級			障がい名(手帳記載のとおりの全文)			
	障がいの原因となっている傷病名等(脳性麻痺、脳出血、二分脊椎など具体的に)							
	視覚に障がいのある方は必ず記入	裸眼	視力	右　　左	視野	右　　左	不可	
	矯正できないときは「不可」に○	矯正後	視力	右　　左	視野	右　　左		
療育手帳	有	更新状況(手帳の記載をもとに記入) 判定年月日　年　月　日（次の判定年月日　年　月　更新不要				無	知的障がいの内容確認が必要な者は、別添で関係書類を提出すること	
障がいの分類	~~1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　4　内部~~　5　知的							
重複障がい	0　なし　1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　4　内部　~~5　知的~~　6　精神 7　その他（　　）							

自己記録

アベレージをご記入ください。

点

特記事項

下記の項目の該当する番号等に○印を付けてください。

1 特になし

2 重複障がいで聴覚、音声･言語等に障がいのある方で
（ 手 話 通 訳 ・ 手書き要約筆記 ）を希望

3 **競技中**に 車 い す を使用

4 **競技中は使用しない**が、
招集から解散までの待ち時間や移動のために 車 い す を使用

シューズ･ボールについて

下記の項目の該当する番号に○印を付け、必要事項をご記入ください。

シューズについて

1　持参する

2　借用を希望する（希望者はサイズを記入）
【サイズ　（　　ｃｍ）】

ボールについて

1　持参する　【　　個】

2　借用を希望する（希望者は重さを記入）
【重　さ　（　　ポンド）】

※ ハウスシューズ、ハウスボールの数に限りがあり、希望のサイズのシューズ、希望の重さのボールを準備できない場合があります。シューズ・ボールをお持ちの方はできる限り持参されますようお願いします。

申し込みにあたって、チェックをお願いします。

参加申込書類が提出された時点で、下記の掲載について同意があったものとして取扱います。	
大会当日は、競技会場にテレビ、新聞報道機関が来場することが予想され、選手の氏名･写真･映像が報道されることがあります。また、競技プログラムや普及啓発用のホームページ等に障がい区分（重複障がい含む。）、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめ御了承のうえ、お申込みください。	チェック欄

様式④－3

第２１回全国障害者スポーツ大会（三重県大会）　個人競技参加申し込み書　【陸上】

フリガナ 氏　名			性別	1 男 2 女	生年月日 年 齢	大正 ・ 昭和 ・ 平成　年　月　日 満　　歳（2021年4月1日現在）
現住所	〒				TEL FAX メール	
身体障害者手帳	交付手帳	都道府県市(区)　第　号　第　種　級			障がい名(手帳記載のとおりの全文)	
	障がいの原因となっている傷病名等(脳性麻痺、脳出血、二分脊椎など具体的に)					
	視覚に障がいのある者のみ記入 矯正できないときは「不可」に○	裸　眼	視力	右　左	視野	右　左
		矯正後	視力	右　左	視野	右　左
						不可
療育手帳	有	更新状況(手帳の記載をもとに記入) 判定年月日　年　月　日（次の判定年月日　年　月　日）　更新不要			無	知的障がいの内容確認が必要な者は、別添で関係書類を提出すること
障がいの分類	1　肢体　2　視覚　3　聴覚・平衡、音声・言語・そしゃく機能　4　内部　5　知的					
重複障がい	0　なし　1　肢体　2　視覚　3　聴覚・平衡、音声・言語・そしゃく機能　4　内部　5　知的　6　精神 7　その他（　　）					

障がい区分

主たる障がいの該当する番号1つのみに○印を付けてください。

上肢	1	手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	16	四肢麻痺で車いす使用
				17	けって移動
				18	片上下肢で車いす使用
	2	両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全		19	上肢で車いす使用
				20	その他走不能
	3	両上腕切断または、両上肢完全		21	上肢に不随意運動を伴う走可能
下肢	4	片下腿切断または、片下肢不完全		22	その他走可能
	5	片大腿切断または、片下肢完全		23	電動車いす常用
	6	両下腿切断			
	7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	視覚障がい	24	視力0から0．01まで
				25	その他の視覚障がい
	8	両大腿切断または、両下肢完全			
体幹	9	体幹	聴覚・平衡機能・音声・言語・そしゃく機能障がい、その他	26	聴覚障がい
車いす常用、以外で使用	10	第6頸髄まで残存			
	11	第7頸髄まで残存			
	12	第8頸髄まで残存			
	13	下肢麻痺で座位ﾊﾞﾗﾝｽなし			
	14	下肢麻痺で座位ﾊﾞﾗﾝｽあり	知的障がい	27	知的障がい
	15	その他の車いす	内部障がい	28	ぼうこう又は直腸機能障がい

障がい区分確認事項

障がい区分1～23の方は、該当する箇所に○印を付け、該当事項をご記入ください。

ア 切　断（部位　　）

イ 脊髄損傷　麻痺の程度　（ 完全 ・ 不完全 ）
　頸髄損傷　（ 四肢麻痺 ・ 対麻痺 ）
　頸髄損傷で座位バランス　（ あり ・ なし ）
　胸髄損傷で座位バランス　（ あり ・ なし ）

ウ 脊髄損傷・脳原性麻痺以外の車いす使用（二分脊椎、骨・関節機能障がい、切断など）の方で座位バランスが（ ある ・ ない ）

エ 障がい区分4・5・7・8（切断は除く）で、片足または両足で補装具なしで立つことが（ 可能 ・ 不可能 ）

オ 脳原性麻痺で、上肢に中等度以上の不随意運動や協調性低下が（ ある ・ ない ）

カ 脳原性麻痺で、上肢の関節可動域に制限が（ ある ・ ない ）

キ 脳原性麻痺で、走ることが（ 可能 ・ 不可能 ）

ク **日常生活で使用**している補装具（装具・車いす・杖など）が（ あり・なし ）

【ありの場合必ず記入して下さい】

●常用の補装具名
[　　]

●常用でないが併用する補装具名
[　　]

出場希望種目

希望する種目・自己記録を下欄にご記入ください。

競技中に使用する補装具等　（ 有 ・ 無 ）

有・無を必ず記入してください。
「有」の方は、番号を下欄に記入してください。
「14 その他」の場合、（ ）に内容を記入してください。
障がい区分10～19の方は、「車いす等」の欄の6～10,12,13から選択してください。

歩行杖等	1 杖	2 松葉杖(1本)	3 松葉杖(2本)
	4 クラッチ(1本)	5 クラッチ(2本)	
車いす等	6 両手駆動	7 片手駆動	8 足駆動(前向)
	9 足駆動(後向)	10 片上下肢駆動	11 電動
	12 投てき台	13 ペトラ	
義肢・装具等	14 その他		

希望順	出場種目		競技中に使用する補装具等	
	種目名	自己記録	番号	その他の内容
第1希望				（　　）
第2希望				（　　）
第3希望				（　　）
リレー希望	有 ・ 無			

★ **走幅跳の踏切板の位置（ 1m ・ 2m ）**

特記事項

下記の項目の該当する番号等に○印を付け、必要事項をご記入ください。

1 特になし
2 障がい区分24、25の競走競技で、伴走者を同伴（障がい区分24の50m音源走を除く）
3 障がい区分24の50m走（音源走）で、（ 競技役員 ・ 許可された者 ）の音源（ 主催者が用意した音源 ・ 持込音源 ）による誘導を希望する
4 障がい区分24・25のフィールド競技（立幅跳以外）で、（ 競技役員 ・ 許可された者 ）の（ 声 ・ 主催者が準備した音源 ・ 持込音源 ）による援助を希望
5 聴覚、音声・言語等に障がいのある者で（ 手 話 通 訳 ・ 手書き要約筆記 ）を希望
6 視覚に障がいのある方で、点字プログラムを希望
7 競技規則上、競技場内に同伴する介助者の入場が認められている者（障がい区分10、16、17、23、24、場合ににによっては区分番号18、25、27）で、競技場内に介助者を希望
（その理由）

申し込みにあたって、チェックをお願いします。

参加申込書類が提出された時点で、下記の掲載について同意があったものとして取扱います。

大会当日は、競技会場にテレビ、新聞報道機関が来場することが予想され、選手の氏名・写真・映像が報道されることがあります。また、競技プログラムや普及啓発用のホームページ等に障がい区分（重複障がい含む。）、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめ御了承のうえ、お申込みください。

チェック欄

様式④－4

第２１回全国障害者スポーツ大会（三重県大会）　個人競技参加申し込み書　【フライングディスク】

フリガナ			性別	1 男	生年月日	大正 ・ 昭和 ・ 平成　年　月　日	
氏　名				2 女	年 齢	満　歳（2021年4月1日現在）	
現住所	〒					TEL	
						FAX	
						メール	
身体障害者手帳	交付手帳	都道府県市(区)　第　号　第　種　級			障がい名(手帳記載のとおりの全文)		
	障がいの原因となっている傷病名等(脳性麻痺、脳出血、二分脊椎など具体的に)						
	視覚に障がいのある者のみ記入	裸　眼	視力	右　左	視野	右　左	不可
	矯正できないときは「不可」に○	矯正後	視力	右　左	視野	右　左	
療育手帳	有	更新状況(手帳の記載をもとに記入) 判定年月日　年　月　日（次の判定年月日　年　月　日）　更新不要			無	知的障がいの内容確認が必要な者は、別添で関係書類を提出すること	
障がいの分類	1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　4　内部　5　知的						
重複障がい	0　なし　1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　4　内部　5　知的　6　精神 7　その他（　）						

出場希望種目

参加希望種目をアキュラシーおよびディスタンスから1種目ずつ選択し、番号に○印を付け、自己記録をご記入ください。

【アキュラシー】	
1	ディスリート･ファイブ
2	ディスリート･セブン
自己記録	
（　投　）	
【ディスタンス】	
11	座位女子(レディース･シティング)
12	座位男子(メンズ･シティング)
13	立位女子(レディース･スタンディング)
14	立位男子(メンズ･スタンディング)
自己記録	
（　m　cm　）	

競技区分

参加希望する番号に○印を付けてください。

1	座　位
2	立　位

特記事項

下記の項目の該当する番号等に○印を付け、必要事項をご記入ください。

1 特になし
2 左腕で投げる
3 視覚障がいを有しているため、音源を必要
4 競技中に車いすを使用（ アキュラシー ・ ディスタンス ）
5 競技中に歩行補助杖を使用（ アキュラシー ・ ディスタンス ）
6 競技中、投げる時にいすを使用（ アキュラシー ・ ディスタンス ）
7 競技中は使用しないが、
招集から解散までの待ち時間や移動のために車いすを使用
8 聴覚、音声･言語等に障がいのある者で
（ 手話通訳 ・ 手書き要約筆記 ）を希望
9 視覚に障がいのある者で、点字プログラムを希望
10 特段の理由により競技場内に同伴する介助者の入場を希望
（その理由）

申し込みにあたって、チェックをお願いします。

参加申込書類が提出された時点で、下記の掲載について同意があったものとして取扱います。

大会当日は、競技会場にテレビ、新聞報道機関が来場することが予想され、選手の氏名･写真･映像が報道されることがあります。また、競技プログラムや普及啓発用のホームページ等に障がい区分（重複障がい含む。）、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめ御了承のうえ、お申込みください。

チェック欄

様式④－5

第２１回全国障害者スポーツ大会（三重県大会）　個人競技参加申し込み書　【卓球】

フリガナ			性別	1 男	生年月日	大正 ・ 昭和 ・ 平成　年　月　日
氏　名				2 女	年 齢	満　歳（2021年4月1日現在）

現住所	〒	TEL
		FAX
		メール

身体障害者手帳	交付手帳	都道府県市(区)　第　号　第　種　級			障がい名(手帳記載のとおりの全文)		
	障がいの原因となっている傷病名等(脳性麻痺、脳出血、二分脊椎など具体的に)						
	視覚に障がいのある者のみ記入 矯正できないときは「不可」に○	裸　眼	視力	右　左	視野	右　左	不可
		矯正後	視力	右　左	視野	右　左	

療育手帳	有	更新状況(手帳の記載をもとに記入) 判定年月日　年　月　日（次の判定年月日　年　月　日）　更新不要	無	知的障がいの内容確認が必要な者は、別添で関係書類を提出すること
精神障害者保健福祉手帳	有	更新状況(手帳の記載をもとに記入) 交付年月日　年　月　日　有効期限　年　月　日	無	精神障がい者で手帳の写しを提出できない者は、別添で関係書類を提出すること
障がいの分類	1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　~~4　内部~~　5　知的　6　精神			
重複障がい	0　なし　1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　~~4　内部~~　5　知的　6　精神 7　その他（　）			

障がい区分

主たる障がいの該当する番号1つのみに○印を付けてください。

上肢	1	片上肢障がい	脳原性麻痺	10	車いす使用
	2	両上肢障がい		11	杖または、松葉杖使用
下肢	3	片下腿切断または、片下肢不完全		12	上肢に不随意運動あり
	4	片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全		13	上肢に不随意運動なし
				14	片側障がい
	5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	視覚障がい	15	アイマスク有り
体幹	6	体幹		16	アイマスク無し
車いす常用、以外で使用	7	第8頸髄まで残存	聴覚障がい、言語機能障がい、音声機能障がい、平衡機能障がい	17	聴覚障がい
	8	座位バランスなし			
	9	その他の車いす			
			知的障がい	18	知的障がい
			精神障がい	19	精神障がい

出場希望種目

障がい区分15の方は「2　サウンドテーブルテニス(STT)」、
その他の方は「1　一般卓球」に○印を付けてください。

1	一般卓球
2	サウンドテーブルテニス(STT)

競技中に使用する補装具等（ 有 ・ 無 ）

障がい区分1～14の方は、必ず記入してください。
「有」の方は該当するものを○で囲んでください。

歩行杖等	1　杖　2　松葉杖(1本)　3　松葉杖(2本) 4　クラッチ(1本)　5　クラッチ(2本)
車いす等	6　両手駆動　7　片手駆動
義肢･装具等	8　（　）

障がい区分確認事項

障がい区分1～14の方は、該当する箇所に○印を付け、該当事項をご記入ください。

ア　切断（部位　）

イ　脊髄損傷　麻痺の程度（　完全　・　不完全　）
　頸髄損傷（　四肢麻痺　・　対麻痺　）
　頸髄損傷で座位バランス（　あり・なし　）
　胸髄損傷で座位バランス（　あり・なし　）

ウ　脊髄損傷･脳原性麻痺以外の車いす使用(二分脊椎、骨･関節機能障がい、切断など)の方で座位バランスが（　ある　・ない　）

エ　障がい区分3～5(切断は除く)で、片足または両足で補装具なしで立つことが(可能 ・不可能)

オ　脳原性麻痺で、上肢に中等度以上の不随意運動や協調性低下が(ある ・ない)

カ　脳原性麻痺で、上肢の関節可動域に制限が (ある・ない)

キ　脳原性麻痺で、走ることが（ 可能 ・ 不可能 ）

ク　**日常生活で使用す**る補装具(装具･車いす･杖など)が (あり・なし)
　【ありの場合必ず記入して下さい】
　●常用の補装具名　[　]
　●常用でないが併用する補装具[　]

特記事項

下記の項目の該当する番号等に○印を付け、必要事項をご記入ください。

1　特になし
2　試合中のボールパーソンを希望
　※STT出場選手は必ず○印を付けてください。
3　競技中は使用しないが、招集から解散までの待ち時間や移動のために車いすを使用
4　聴覚、音声･言語等に障がいのある者で 手話通訳 を希望
5　聴覚、音声･言語等に障がいのある者で 要約筆記 を希望
6　補助犬を同伴
7　視覚に障がいのある者で、点字プログラムを希望
8　特段の理由により監督･コーチ以外に競技場内に同伴する介助者の入場を希望
　（その理由）

申し込みにあたって、チェックをお願いします。

参加申込書類が提出された時点で、下記の掲載について同意があったものとして取扱います。

大会当日は、競技会場にテレビ、新聞報道機関が来場することが予想され、選手の氏名･写真･映像が報道されることがあります。また、競技プログラムや普及啓発用のホームページ等に障がい区分(重複障がい含む。)、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめ御了承のうえ、お申込みください。

チェック欄

様式④－６

第２１回全国障害者スポーツ大会（三重県大会）　個人競技参加申込書　【アーチェリー】

フリガナ			性別	1 男	生年月日	大正 ・ 昭和 ・ 平成　年　月　日
氏　名				2 女	年 齢	満　歳（2021年4月1日現在）

現住所	〒	TEL
		FAX
		メール

身体障害者手帳	交付手帳	都 道 府 県 市（区） 第　号 第　種　級	障がい名(手帳記載のとおりの全文)
	障がいの原因となっている傷病名等（脳性麻痺、脳出血、二分脊椎など具体的に）		

視覚に障がいのある方のみ記入	裸　眼	視力	右　左	視野	右　左	不可
矯正できないときは「不可」に○	矯正後	視力	右　左	視野	右　左	

療育手帳	有	更新状況(手帳の記載をもとに記入) 判定年月日　年　月　日（次の判定年月日　年　月　更新不要	無	知的障がいの内容確認が必要な者は、別添で関係書類を提出すること
障がいの分類	1　肢体　~~2　視覚~~　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　4　内部　~~5　知的~~			
重複障がい	0　なし　1　肢体　2　視覚　3　聴覚･平衡、音声･言語･そしゃく機能　4　内部　5　知的　6　精神 7　その他（　）			

障がい区分

主たる障がいの該当する番号1つのみに○印を付けてください。

肢体不自由	脳原性麻痺以外で車いす常用	1	第8頸髄まで残存
		2	その他の車いす
	切断･機能障がい	3	上肢障がい
		4	下肢障がい(いす、車いす使用を含む
		5	体幹
	脳原性麻痺	6	脳原性麻痺
聴覚･平衡機能障がい、音声･言語･そしゃく機能障がい		7	聴覚障がい
内部障がい		8	ぼうこう又は直腸機能障がい

障がい区分確認事項

障がい区分1～6の方は、該当する箇所に○印を付け、該当事項をご記入ください。

ア　切　断　　（ 部位:　　）

イ　脊髄損傷　　（　四肢麻痺　・　対麻痺　）

ウ　**日常生活で使用**している補装具（ 装具 ・ 車いす ・ 杖など ）が
（ あり ・ なし ）

【ありの場合必ず記入して下さい】

●常用の補装具名

[　　]

●常用でないが併用する補装具名

[　　]

出場希望種目

参加希望種目･部門を1種目選び、番号に○印を付け、その種目の自己記録をご記入ください。

自己記録	点

1	リカーブ50m･30mラウンド
2	リカーブ30mダブルラウンド
3	コンパウンド50m･30mラウンド
4	コンパウンド30mダブルラウンド

特記事項

下記の項目の該当する番号等に○印を付け、必要事項をご記入ください。

1　特になし

2　障がい区分1で、介助者の入場が必要
（　介助内容:　　）

3　障がい区分1以外で、特段の理由により競技場内に同伴する介助者の入場を希望（行射時間外の介助（弓具の移動や車いす移動介助等）のみを行う場合を除く）
（その理由）

4　障がい区分1のリカーブボウ使用者で手に補助具（リリースエイド等の発射装置）使用を希望

5　競技中に　車いす　を使用

6　競技中に　いす　を使用

7　聴覚、音声･言語等に障がいのある方で
（ 手話通訳 ・ 手書き要約筆記 ）を希望

申し込みにあたって、チェックをお願いします。

参加申込書類が提出された時点で、下記の掲載について同意があったものとして取扱います。

大会当日は、競技会場にテレビ、新聞報道機関が来場することが予想され、選手の氏名･写真･映像が報道されることがあります。また、競技プログラムや普及啓発用のホームページ等に障がい区分（重複障がい含む。）、年齢区分、氏名、所属名、競技中の写真及び競技記録等を掲載しますので、あらかじめ御了承のうえ、お申込みください。

チェック欄

（様式⑤）

第２１回（２０２１年度）全国障害者スポーツ大会 個人競技選手 問診票

１．氏　　名（　　）
２．身　　長（　　cm）　　体　　重（　　kg）
３．現在、治療中の病気・ケガ等がありますか。
　ない　・　ある（何の病気・ケガですか。　　）
４．今までにかかった病気・ケガがあれば教えて下さい。
　めまい　・　ぜんそく　・　食物アレルギー（　　）　・　胃潰瘍
　肝臓病　・　高血圧　・　心臓病　・　糖尿病　・　腎臓病　・　その他（　　）
　手術を受けたことがある（病名　　）
５．最近１年以内に健康診断、または病院受診したことがありますか。
　ない　・　ある
　　↓「ある」方のみ
　何のために受診しましたか。
　健康診断　・　病気　・　ケガ　・　その他（　　）
　病院受診で何か異常を指摘されましたか。（指摘内容　　）
６．現在服用中の薬や健康食品などがあれば教えて下さい。（詳細に）
　〔　　〕
　内服について自己で管理できますか。
　できる　・　できない
７．今までに薬や注射で身体に異常が起きたことがありますか。
　ない　・　ある（何の薬ですか。　　）
　　↓「ある」方のみ
　どんな異常が起こりましたか。
　発疹　・　ぜんそく発作　・　気分不良　・　嘔吐　・　意識消失　・　ショック状態
　その他（　　）
８．乗り物酔いはありますか。
　ない　・　ある
９．日常生活動作についてご記入ください。
　日常生活全般は次のうちどれに当てはまりますか。
　自　立　・　一部介護　・　介　護
　　↓「一部介護」「介護」の方は以下も記入
　①移動手段：　独歩　・　杖　・　車椅子　・　義足　・　装具　・　補助犬　・　その他（　　）
　②食事　　：　自　立　・　一部介助　・　全介助
　③更衣　　：　自　立　・　一部介助　・　全介助
　④入浴　　：　自　立　・　一部介助　・　全介助
　⑤トイレ　：　自　立　・　一部介助　・　全介助
　⑥コミュニケーション手段　：　手話通訳　・　要約筆記　・　点字
　⑦支援用具（ホテル滞在時に必要な用具）
　シャワーチェア・浴室内マット・バスボード　・防水シーツ・Ｓ字フック・ドアストッパー
10．運動中または終了後、以下のような症状が出ますか。
　過度の動悸　・　過度の息切れ　・　不整脈　・　呼吸困難　・　胸の痛み　・　圧迫感
　その他（　　）
11．スポーツ活動についてお答えください。
　①スポーツ活動を（　している　・　していない　）
　②種目と頻度　　例：「陸上競技を１日２時間、週４日程度」
　〔　　〕
12．日常生活やスポーツに関する総合所見・リスク管理上の留意点等、ご記入下さい。
　〔　　〕

（全国大会提出書類 ④-イ-C 作成例）

２０２１年　　月　　日

証　　明　　書

下記の選手につきましては、療育手帳取得の対象に準ずる障害があることを証明します。

記

１．氏名（ふりがな）・性別　　（　男　・　女　）

２．生年月日　　昭和・平成　　年　　月　　日

３．年　　齢　　歳　（２０２１年４月１日現在）

４．選手現住所

５．在籍・卒業団体名　　（ 卒業・在籍 ）

６．在籍期間　　年　　月　～　　年　　月

７．証明者名　　印

島根県障害者スポーツ協会のご案内

公益財団法人島根県障害者スポーツ協会は、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の方を対象に、障がい者スポーツの普及・振興、障がい者が地域でスポーツ活動を行う基盤・環境づくりを支援しています。

１．スポーツ大会の開催

①島根県障がい者スポーツ大会の開催

陸上、卓球、ボウリング、水泳、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなど１１競技を開催。全国大会出場選手権大会です。

②全国障害者スポーツ大会への選手派遣事業

令和３年度は、三重県で１０月２３日（土）から２５日（月）に開催予定。島根県代表選手にご声援を。

③地域でのスポーツ教室・体験会など

パラリンピック種目であるボッチャや車いすスポーツなどの体験会を開催します。講師派遣もお手伝いします。

２．スポーツ活動への助成事業・指導者研修事業

①障がい者スポーツ練習会の開催

②クラブチーム・団体競技への助成事業

③トップアスリートの発掘支援事業

④障がい者スポーツの指導者研修事業

３．強化選手の指定・育成

障がい者スポーツ強化選手を指定し、全国レベルで活躍する選手を育成します。

社会福祉法人島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内
公益財団法人島根県障害者スポーツ協会
〒６９０－００１１ 松江市東津田町１７４１番地３ いきいきプラザ島根５階
電話：０８５２－２０－７７７０　ﾌｧｯｸｽ：０８５２－３２－５９８２
Mail:info_office@spokyo.org　ホームページ http://spokyo.org/